

保健衛生事業の概要

令和6年度実施

(令和7年度版)

四日市市

目 次

第1章 総説

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 概 要 | P. 1 |
| 2. 沿 革 | P. 1 |
| 3. 人 口 | P. 2 |
| 4. 保健所の組織及び事務分掌 | P. 3～ |

第2章 事業の実績

- | | |
|--------------|---------|
| I. 健康づくり課 | P. 5～ |
| II. 保健企画課 | P. 28～ |
| III. 保健予防課 | P. 44～ |
| IV. 衛生指導課 | P. 69～ |
| V. 食品衛生検査所 | P. 82～ |
| VI. こども保健福祉課 | P. 86～ |
| VII. 保健所内 | P. 109～ |

第1章 総説

1. 概要

四日市市は三重県の東北部に位置し、西は鈴鹿連峰、東は伊勢湾に面して北勢の中心を占めている。面積は、206.50k m²。

平成19年10月21日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認された。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬務、生活衛生などの、より専門的な業務を担当することとなった。それにより医療・福祉・教育などと連携した総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かい保健衛生サービスが可能になった。

2. 沿革

年 月 日	事 項
	【主な経緯】
平成 17 年 2 月 7 日	楠町との合併により、中核市要件を満たす。
平成 18 年 11 月 22 日	市長が20年4月の保健所政令市移行を目指すことを表明。
平成 19 年 10 月 21 日	政令公布 保健所政令市の指定に関する政令が公布され、保健所の設置が承認。
平成 20 年 4 月 1 日	保健所政令市移行に伴う機構改革により健康部が創設され保健所業務を所管する。
平成 21 年 9 月 24 日	保健所事務部門を県四日市庁舎より四日市市総合会館へ移設。 機構改革組織変更により、保健衛生検査室と食肉衛生検査所を統合し、保健所組織の食品衛生検査所とする。
平成 25 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、健康福祉部内に保健所を設置。母子保健についてはこども未来部の所管とする。
平成 26 年 4 月 1 日	四日市市食品衛生検査所新築に伴い、食肉衛生検査部門を県四日市庁舎より移転。
令和 5 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、保健所内に保健企画課を新設する。

3. 人 口

1) 年次別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	世帯数 (戸)	人 口			人口密度 (1km ² あたり)	備 考
		総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)		
令和 6 年	145,962	306,749	154,072	152,677	1,486	
5 年	144,956	308,248	154,982	153,266	1,493	
4 年	144,556	310,113	156,002	154,111	1,502	
3 年	142,498	310,110	155,643	154,467	1,502	
2 年	141,768	311,716	156,413	155,303	1,510	

2) 年齢階層別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	人口総数 (人)	年少人口※1		生産年齢人口※2		老年人口※3	
		実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)
令和 6 年	306,749	35,908	11.7	189,947	61.9	80,894	26.3
5 年	308,248	36,782	11.9	190,647	61.8	80,819	26.2
4 年	310,113	37,491	12.1	191,656	61.8	80,966	26.1

※1 年少人口 0～14 歳 ※2 生産年齢人口 15～64 歳 ※3 老年人口 65 歳以上

[年少・老年・従属人口指数及び老年化指数] 令和 6 年 10 月 1 日現在 () : 令和 5 年

・年少人口指数	18.9 (19.3)	・老年人口指数	42.6 (42.4)
・従属人口指数	61.5 (61.7)	・老年化指数	225.3 (219.7)

年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100

老年化指数 = 老年人口 ÷ 年少人口 × 100

4. 保健所の組織及び事務分掌

職員配置(令和7年4月1日現在)

	医師	歯科医師	獣医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	臨床検査技師	診療放射線技師	その他の職種	事務職	会計年度任用職員 (フルタイム)	再任用	合計
健康福祉部																		
部長															1			1
保健衛生担当部長															1			1
理事兼保健所長	1																	1
次長、社会福祉事務所長、こども未来部次長															1			1
保健所副所長															1			1
参事															3			3
政策推進監															1			1
健康づくり課															1			1
副参事					1			(1)									(1)	1(1)
健診・予防接種係					4(1)			(1)							4			8(2)
健康づくり係					5					3						(1)		8(1)
健康増進センター															4		(2)	4(2)
健康福祉部保健所																		
保健衛生担当部長															(1)			(1)
理事兼所長	(1)																	(1)
副所長															(1)			(1)
保健企画課															(1)			(1)
課長(保健所副所長兼務)															(1)			(1)
副参事、課長補佐															1			1
副参事(統括保健師)、課長補佐、企画係長					1													1
管理医療係					1										1	1		3
企画係															4			4
保健予防課					1										1			1
課長補佐、精神保健係長															1			1
保健予防係長					1													1
保健予防係					3										1			4
精神保健係					7(1)										3		1	11(1)
衛生指導課															1			1
課長					2													2
副参事、課長補佐																		2
生活衛生係			3												2			5
食品薬事係			2	5											1			8
食品衛生検査所																		1
所長			1															1
副所長															1			1
食肉検査グループ			13												1(1)			14(1)
衛生検査グループ												6			1	(1)	(1)	7(2)
こども未来部																		
部長															1			1
次長、こども未来課長															1			1
次長、健康福祉部次長															(1)			(1)
政策推進監															1			1
こども家庭センター															1	2	6	10
所長															1			1
副参事、所長補佐					1													1
所長補佐・こども家庭係長					1													1
こども家庭係					1									1	2	6		10
管理係														1	3			4
母子保健第1係					8					1(3)					1	(3)	(1)	11(7)
母子保健第2係					7		1											8

()内の数字は再計

第2章 事業の実績

I. 健康づくり課

1. 成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるために健康手帳を交付した。

交付者数（人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
40歳～74歳	126	148	198
75歳以上	114	145	143
合計	240	293	341

平成30年度以降、厚生労働省のホームページから直接ダウンロードでの交付を併用

(2) 健康相談事業

健康相談を行い、市民の健康保持増進を図った。

実施状況 40～64歳【（ ）内は20～39歳】

	実施回数	相談延べ実施人数		
		令和6年度	令和5年度	令和4年度
あさけプラザでの相談	週2回	0 (0)	2 (0)	6 (0)
健康づくり課等での相談 (来所)	随時	8 (6)	6 (0)	8 (0)
電話による健康相談	随時	22 (0)	18 (1)	24 (1)
依頼による相談	随時	2 (1)	5 (3)	3 (3)
健康教育と併設	随時	0 (0)	0 (0)	1 (0)
合計		32 (7)	31 (4)	42 (4)

65歳以上は、3)介護予防事業の(1)健康相談に計上

(3) 検診等

疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につなげるため、各種検診を実施した。

検診受診状況

区分	年度	40歳以上					40歳未満		
		対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2			受診率 (%) ※3	受診者数(人)		
			地区 巡回	医療 機関	合計		地区 巡回	医療 機関	合計
胃がん検診	令和6年度	バリウム	1,598	4,257	5,855		0		0
		内視鏡	83,172		5,676	5,676			
		合計		1,598	9,933	11,531	9.0	0	0
	令和5年度	バリウム	1,568	4,167	5,735		0		0
		内視鏡	81,728		5,448	5,448			
		合計		1,568	9,615	11,183	8.7	0	0
	令和4年度	バリウム	1,680	4,213	5,893		0		0
		内視鏡	80,105		5,028	5,028			
		合計		1,680	9,241	10,921	9.4	0	0
乳がん検診	令和6年度	マンモグラフィ	59,544	2,697	4,682	7,379	18.3		
		エコー		490		490		273	273
	令和5年度	マンモグラフィ	59,679	2,745	4,578	7,323	17.8		
		エコー		455		455		302	302
	令和4年度	マンモグラフィ	59,846	2,928	4,441	7,369	17.9		
		エコー		425		425		282	282

肺がん・ 結核検診	令和6年度	122,952	2,914	13,109	16,023	5.5	0		0
	令和5年度	123,063	2,871	12,101	14,972	5.2	0		0
	令和4年度	123,059	2,881	11,715	14,596	5.2	0		0
大腸がん検診	令和6年度	122,952	2,647	16,336	18,983	6.7			
	令和5年度	123,063	2,668	15,387	18,055	6.4			
	令和4年度	123,059	2,845	15,256	18,101	6.5			

検診受診状況

区分	年度	20歳以上の女性					受診率(%) (20~69歳) ※3
		対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2			合計	
			地区 巡回	医療 機関	妊婦健診 での受診者		
子宮頸がん検診	令和6年度	90,882	1,579	9,493	2,025	13,097	18.6
	令和5年度	91,301	1,641	9,200	1,962	12,803	18.2
	令和4年度	91,437	1,796	8,741	2,092	12,629	18.3
HPV 検査	令和6年度		90	850	360	1,300	
	令和5年度		93	867	338	1,298	
	令和4年度		71	919	347	1,337	

※1 対象者数は、40~69歳(ただし、胃がん検診は50~69歳、子宮頸がん検診は20~69歳)を計上。

※2 受診者数は、40歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上)を計上。

※3 受診率は、下記計算式にて算出。

(胃がん検診受診率算出方法)

= (「前年度受診者数(バリウム+内視鏡)」+「当該年度受診者数(バリウム+内視鏡)」-「2年連続受診者数(バリウム+内視鏡)」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

(乳がん検診・子宮頸がん検診の受診率算定方法)

= (「前年度受診者数」+「当該年度受診者数」-「2年連続受診者数」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

受診率は、※1を分母とし、※2のうち、40~69歳(胃がん検診は50~69歳、子宮頸がん検診は20~69歳)の者を抽出し算出。

検診受診状況（医療機関にて実施）

区分	年 度	受診者数（人）
		計
検査 肝炎 ウイルス	令和6年度	136
	令和5年度	136
	令和4年度	110

さわやか歯科検診（歯周病検診）受診状況

年 度	対象者数 （人）※	受診者数（人）							受診率 （%）
		20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	合計	
令和6年度	22,941	120	170	159	210	234	279	1,172	5.1
令和5年度	23,112	122	158	180	238	242	320	1,260	5.5
令和4年度	22,785	137	186	187	290	242	337	1,379	6.1

※20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の人口

（4）健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の40歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドロームの早期発見、予防改善のための健診及び保健指導を実施した。

健康増進法健康診査・保健指導受診状況

年 度	健康診査			保健指導							
				動機付け支援				積極的支援			
	対象者数 （人）	受診者数 （人）	受診率 （%）	対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （%）	対象者数 （人）	受診者数 （人）		受診率 （%）
初回面談					継続支援	初回面談			継続支援		
令和6年度	2,799	499	17.8	18	0	0	0.0	18	0	1	5.6
令和5年度	2,817	511	18.1	20	0	1	5.0	15	1	2	20.0
令和4年度	2,855	490	17.2	23	1	2	13.0	17	2	2	23.5

(5) 大人の風しん対策（風しん抗体検査・予防接種）

「先天性風しん症候群」の発症を防止するため、妊娠を希望している女性等を対象に風しん抗体検査及びワクチン公費助成（抗体価が低い人のみ）を行った。

また、今まで公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い男性（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）を対象に、風しんの追加的対策として抗体検査及び予防接種（抗体価が低い人のみ）を実施した。

受診・接種状況

		対象者	令和6年度 受診・接種者 数(人)	令和5年度 受診・接種者 数(人)	令和4年度 受診・接種者 数(人)
妊娠を 希望する 女性等へ の補助	抗体 検査	妊娠を予定又は希望している女性	123	143	140
		同居者	112	157	120
		風しん抗体価が低い妊婦の同居者	53	48	42
		合計	288	348	302
		風しんワクチン等接種公費助成	235	300	307
追加的 対策		抗体検査	1,288	751	1,371
		予防接種	366	176	355

(6) 大人の予防接種

① 高齢者インフルエンザ

インフルエンザの予防と重症化を防ぐために、高齢者に対してインフルエンザの予防接種を実施した。

接種状況

	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳 以上	80,894	41,378	51.2	80,819	44,575	55.2	80,966	46,555	57.5
60～64 歳	130	84	64.6	125	91	72.8	133	92	69.2

② 高齢者肺炎球菌ワクチン

高齢者の肺炎の予防と重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施した。

定期接種については、65歳から5歳刻みの年齢を対象とした経過措置が令和5年度末に終了し、令和6年度は65歳および60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器機能障害により身体障害者手帳1級を所持する者を対象とした。

接種状況

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	65歳 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)
定期接種	842	11	2,681	11	2,673	12
公費助成	113		76		53	

③ 高齢者带状疱疹ワクチン

高齢者の带状疱疹の予防と重症化を防ぐために、带状疱疹ワクチンの予防接種を実施した。

接種状況

			令和6年度 50歳以上 (人)
公費助成	不活化ワクチン	1回目	5,278
		2回目	4,320
	生ワクチン		338

④ 高齢者新型コロナワクチン

高齢者の新型コロナウイルス感染症の予防と重症化を防ぐために、新型コロナワクチンの予防接種を実施した。令和6年10月から、高齢者新型コロナ予防接種が定期接種となった。

接種状況

	令和6年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳以上	80,894	8,481	10.5
60～64歳	130	52	40.0

2) 健康づくり支援

(1) 健康教育

各種教室を実施し、健康増進、疾病予防を図った。

実施状況

教室	年度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40歳以上	
					40歳以上	40歳未満
カラダスッキリ塾	令和6年度	5	114	29	27	2
	令和5年度	5	130	29	29	0
	令和4年度	5	106	24	24	0
女性の健康づくり セミナー	令和6年度	2	54	33	25	8
保健事業指導者 支援事業	令和6年度	2	88	88	77	11
	令和5年度	2	68	68	56	12
	令和4年度	2	78	78	64	14
乳がん予防 健康教育	令和6年度	57	3,460	3,460	3,187	273
	令和5年度	58	3,502	3,502	3,200	302
	令和4年度	59	3,635	3,635	3,353	282
出前講座	令和6年度	18	364	355	291	64
	令和5年度	19	596	587	519	68
	令和4年度	5	145	145	130	15
地区及び各種団体等 からの依頼	令和6年度	6	110	110	94	16
	令和5年度	5	202	202	179	23
	令和4年度	4	67	22	22	0
三重北勢健康増進 センター開催 健康づくり教室 (※)	令和6年度	142	1,308	399	399	0
	令和5年度	146	1,161	352	351	1
	令和4年度	86	472	149	149	0

(※) 令和4年10月2日～令和5年2月28日 空調設備工事に伴い、屋内施設利用不可であったため、屋外での教室に振替えたが、教室開催数は減少

(2) 健康ボランティア開催による健康教育

健康ボランティアによる、地域での健康づくりの啓発や教室を開催した。

実施状況

参加者数 (人)

年 度	ステキ健康サポーターによる活動	食生活改善推進員による活動
令和 6 年度	25,088	10,574
令和 5 年度	26,399	11,369
令和 4 年度	25,475	11,950

ステキ健康サポーター：生活習慣病予防をすすめるボランティア

食生活改善推進員：食生活改善をすすめるボランティア

(3) 健康ボランティア養成

運動実践や食生活の改善など地域で健康づくりを推進するため、健康ボランティアを養成した。

実施状況

教室	年 度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40 歳以上	
					40 歳未満	
ステキ健康サポーター 養成講座	令和 6 年度	5	54	13	13	0
	令和 5 年度	5	79	18	16	2
	令和 4 年度	5	62	14	14	0
食生活改善推進員養成 事業(栄養教室)	令和 6 年度	7	81	13	12	1
	令和 5 年度	7	111	17	16	1
	令和 4 年度	7	109	17	16	1

(4) 働く世代の健康づくり支援事業

① 地域職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、働く世代の健康づくりに関する情報の共有や協働事業の実施等について協議する。

開 催 日	議 事
令和 6 年 8 月 29 日(木) 台風接近に伴い中止	○健康づくり課の取り組みについて (令和 6 年度計画) ○メンタルヘルス対策について ○若年性認知症への取り組みについて
令和 7 年 2 月 20 日(木)	○メンタルヘルス対策について ○健康経営の視点から認知症を考える ○健康づくり課の取り組みについて

② みんなの健康☆応援事業所登録事業

事業所の健康づくりを応援するため、登録事業所に対して毎月健康情報を配信し、事業所や従業員が健康づくりに取り組むきっかけを作った。

登録事業所数

(事業所)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
登録事業所数	170	169	170
健康情報を提供している事業所数	436(※1)	503	499

(※1) 組合加入事業所の加入状況の見直しにより事業所数が減少

③ 四日市をARUKUンピック

働く世代の健康の維持増進及び健康習慣の定着をはかるとともに、参加する企業が健康経営に取り組む端緒となることを目的として、スマートフォンのアプリを活用した企業対抗型のウォーキングイベント「企業対抗！四日市をARUKUンピック」を開催した。併せて、市民が楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、個人対抗型のウォーキングイベント「市民版四日市をARUKUンピック」を開催した。

参加状況

	参加事業所数	参加チーム	参加者(人)
【企業対抗】 令和6年度	49	180	875
令和5年度	46	133	631
令和4年度	27	50	310
【個人対抗】 令和6年度			207

(5) 啓発事業

市民が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう啓発活動を実施した。

① がん検診受診について

- ・がん検診啓発冊子を市内の祭り、イベント、市内大学等に合計 719 部配布した。
- ・検診バックを市内の祭りに合計 100 個配布した。
- ・がん検診受診勧奨動画を作成し、市ホームページ、本庁舎案内板、市内商業施設、市内医療機関等での公開を行った。

② 健康づくりについて

- ・健康づくりへの関心を高めるため、健康情報冊子「ARUKU」「ARUKUvol.2」「ARUKU vol. 3」について、地区市民センター、庁内窓口、企業、健康ボランティアなどを通じて配布を行った。

(冊)

冊子名	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
ARUKU	3,246	2,659	3,090
ARUKUvol. 2	2,975	2,616	3,330
ARUKUvol. 3	4,654	9,280	

- ・街の中に「歩く」ことが浸透するように、「ARUKU」を基盤とした、啓発活動を実施

◆工事現場の仮囲等へのマグネット標示の設置 (2 か所)

鶉の森公園内、本庁舎横ごみ倉庫外壁

◆ポスター掲示による啓発

掲示場所：市関連施設、国道 1 号線地下歩道橋、みんなの健康☆応援事業所、マイレージ
得点協力店、商店街団体

- ・健康づくりに取り組むきっかけの促進を図るため、「健康マイレージ事業」を実施。一定のポイントをため、応募があった人に協力店で特典が受けられる「三重とこわか健康応援カード」を交付した。

対象者：四日市市在住、在勤の 18 歳以上

交付者数 (人)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
交付者数	1,009	781	864

- ・市民が、継続して楽しみながら運動を実施できるよう運動の成果を記録で見える化することにより、運動習慣が身につくように促す「令和 6 年度 四日市を ARUKU マップ」を実施した。(令和 6 年 10 月～令和 7 年 2 月)

対象者：四日市市在住・在勤・在学する 18 歳以上の人

参加者数 (人)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
参加者数	1,476	1,023	809

- ・市民の関心を高め、健康づくりの推進につなげるため、健康情報冊子「ARUKU」の動画版を市公式YouTubeチャンネルにて放映した。(令和3年11月24日～放映)

【視聴回数(令和7年3月31日時点)】

	令和7年 3月31日時点	令和6年 3月31日時点	令和6年度 年間視聴回数
市街地編	1,621	1,468	153
南部丘陵公園	1,836	1,562	274
垂坂公園・羽津山緑地編	2,427	2,151	276
中央緑地編	1,664	1,389	275
チェックパターンエクサ サイズ編	1,145	1,007	138

PR編：本庁舎1階電子掲示板、本庁舎及び総合会館エレベーター前電子掲示板で放映

③ イベントにおける啓発活動

イベント名	北勢バイパス開通記念 プレイベント	「日永梅林」梅まつり	ナイトラン フェスティバル
日時	令和7年3月1日(土) 9:00～11:00	令和7年3月2日(日) 9:30～12:00	令和7年3月8日(日) 9:30～12:45
場所	北勢バイパス開通区間 南側	南部丘陵公園北ゾーン	四日市ドーム
内容	ARUKU事業の啓発 冊子啓発グッズ等 1,000部配布	・ARUKU事業の啓発 ・ウォーキングラリー 100人参加	ARUKU事業の啓発 冊子啓発グッズ等200 部配布

(6) 受動喫煙対策についての周知啓発及び相談

望まない受動喫煙が生じないように、ポスターやリーフレットの配布等による啓発や、市民・事業者からの受動喫煙に対する相談を行った。(健康増進法改正に伴い令和元年度から実施)

	受動喫煙についての相談件数
令和6年度	13
令和5年度	12
令和4年度	12

(7) 熱中症予防の普及啓発

熱中症の発症を予防するため、市民への情報提供とともに、庁内関係機関、地域活動団体、職域等に働きかけ、市内全域へ熱中症予防に関する知識の普及・啓発を実施。また、7月1日～9月30日を熱中症予防強化月間とし、啓発の強化を図った。

① 健康だより(熱中症予防)の配付(5月号)

配付先	配付数	
	令和6年度	令和5年度
公共施設等市関係機関	1,021	715
地域活動団体(健康ボランティア)	1,971	3,309
民生委員児童委員協議会連合会	695	693
健康づくり事業等	245	2,604
商工会等	80	0
医療機関	20	0
計	4,032	7,321

② 啓発ポスター・チラシの配付

	配付数
	令和6年度
ポスター	611
チラシ	13,524

(配付先) ポスター：庁内、各地区市民センター、クーリングシェルター設置施設等
 チラシ：各地区市民センター、クーリングシェルター設置施設、伊坂ダム
 幼児健診、高齢福祉課、障害福祉課、保護課、都市整備部(工事関係事業者)、地域活動団体、健康づくり事業、講演会(保健予防課開催)等

③ その他周知・啓発

- ・ 地区回覧
5月 各地区市民センターお知らせ版
- ・ 広報よっかいち 6月下旬号
- ・ 四日市市公式ホームページ
- ・ 四日市市公式LINEへのバナー掲載
- ・ 四日市市安全安心防災メールの配信
7月～9月の毎月1日に、啓発メールを配信。
- ・ 暑さ指数、熱中症警戒アラート発表時の注意喚起
- ・ 庁内放送(市役所・総合会館)
7月1日～9月30日の期間、毎日10時に実施。
- ・ 在宅医療介護連携支援センター会議、民生委員児童委員協議会連合会会議等において、高齢者の熱中症予防について啓発の協力を依頼。
- ・ 企業、事業所等への啓発(6月実施)
みんなの健康☆応援事業所158箇所へ「熱中症予防の注意喚起」と「環境省の熱中症予防情報サイト」についてメール配信。
- ・ 熱中症予防啓発イベントの開催
7月3日 消防署と連携し、ショッピングセンターにて啓発イベントを実施。

3) 介護予防事業 (おおむね65歳以上の方対象)

(1) 健康相談

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行った。

相談状況 (人)

年度	来所相談		依頼による 相談	電話相談 (ヘルプダイヤル等)	健康教育 と併設	合計
	あさけプラザ	健康づくり課 窓口等				
令和6年度	2,420	185	10	80	0	2,695
令和5年度	1,858	184	15	76	4	2,137
令和4年度	1,703	154	27	62	8	1,954

(2) 訪問事業

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行った。

実施状況 (人)

年度	実人員			延人員		
	閉じこもり 予防	その他	計	閉じこもり 予防	その他	計
令和6年度	14	1	15	65	9	74
令和5年度	17	0	17	67	0	67
令和4年度	18	0	18	81	0	81

4) 栄養指導・食育推進ネットワーク事業

(1) 給食施設指導

健康増進法に基づき、特定多数の人に継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導や研修会を行った。

① 給食施設巡回指導

令和3年度・4年度の巡回指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県の動向等を踏まえ中止としたが、啓発資料等による情報提供を実施した。

令和5年度から巡回指導を再開した。

実施状況

(件)

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
学校	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
病院	特定給食施設指導数	9	9	0
	一般給食施設指導数	4	4	0
老人保健施設	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
児童福祉施設	特定給食施設指導数	7	14	0
	一般給食施設指導数	3	12	0
老人福祉施設	特定給食施設指導数	1	2	0
	一般給食施設指導数	7	2	0
社会福祉施設	特定給食施設指導数(※)	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	2	0
事業所	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
寄宿舍	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0

(※) 指導対象施設なし

② 給食施設研修会

実施状況

開催日	利用者数(人)	内 容
令和6年 8月20日(火)	59	三重県健康推進課提供のWEB研修により実施 講義：「三重県民の健康・栄養の現状と課題 ～令和4年県民健康・栄養調査結果から～」 講師：津市立三重短期大学食物栄養学科 准教授 駒田亜衣 氏 事例報告1：「令和6年能登半島地震におけるJDA-DATの活動について」 講師：鈴鹿医療科学大学 准教授 大槻 誠 氏 事例報告2：「令和6年能登半島地震における1.5次避難所での活動について」 講師：社会福祉法人洗心福祉会津介護老人保健施設シルバーケア豊壽園 中島 礼子 氏
令和7年 2月26日(水)	48	講義：「給食施設における災害時の備えについて」 講師：修文大学 教授 小田 雅嗣 氏

(2) 栄養成分表示等に関する相談

食品表示法第4条、第5条、健康増進法第65条第1項に基づき、食品の表示等に関する相談を行った。

実施状況

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
特定保健用食品	0	0	0
特別用途食品	0	0	0
食品表示基準 (又は栄養表示基準)	6	14	13
栄養機能食品	0	1	0
誇大表示の禁止	0	0	1
計	6	15	14

(3) 食育推進事業

食に関する取り組みの充実に向け、庁内及び食育推進関係団体等がともに連携し、各種事業を行った。

① 四日市市食育推進会議

実施状況

開催日	議事
第1回 令和6年10月25日(金)	1. 令和5年度食育推進事業について
第2回 令和7年3月12日(水)	1. 令和6年度の食育推進事業について(報告) 2. 今後の食育推進の取り組みについて

② 啓発事業

実施状況

	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)	
		延人員	実人員		延人員	実人員		延人員	実人員
食育推進のための啓発事業	1	211	211	1	107	107	1	198	198
高校生・大学生のための食育教室	1	390	390	1	138	138	2	170	170
食育推進ポスター事業	応募数 738 作品			応募数 868 作品			応募数 1,057 作品		

そのほか、食育推進ポスターの入賞作品を用いて、野菜の摂取量向上の推進を目指した啓発活動を行った。

2. 三重北勢健康増進センター事業

1) 利用状況と推移(人)

区 分		令和6年度	令和5年度	令和4年度
プール	一般	17,590	14,959	9,316
	65歳以上	15,804	14,183	8,482
	中学生以下	8,527	7,857	5,680
	小計	41,921	36,999	23,478
トレーニングジム	一般	11,909	10,048	5,212
	65歳以上	12,530	11,160	6,392
	小計	24,439	21,208	11,604
軽運動室及びランニングトラック	一般	5,785	4,982	3,106
	中学生以下	1,114	805	323
	小計	6,899	5,787	3,429
グラウンドゴルフ場	一般	2,696	2,881	2,816
	中学生以下	48	44	23
	小計	2,744	2,925	2,839
計		76,003	66,919	41,350

健康づくり教室 ※1	1,308	1,161	472
------------	-------	-------	-----

※1 健康教育の三重北勢健康増進センター開催健康づくり教室を再掲。

障害児等機能回復訓練 ※2	—	—	—
---------------	---	---	---

※2 こども未来部事業

運動施設専用使用	9,386	8,056	4,869
会議施設使用	6,237	3,319	3,922 ※3

※3 令和4年度会議施設使用人数のうち、新型コロナウイルスワクチン関係 1,601

利用者合計	91,626	78,356	50,141
-------	--------	--------	--------

3. 統計資料

1) 年齢別死因と死亡割合（令和5年）

※厚生労働省 人口動態

（全体）

	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	総数
1位	不慮の事故 (62.5)	不慮の事故 (38.5)	自殺 (36.4)	悪性新生物 (31.3)	悪性新生物 (41.3)	悪性新生物 (39.3)	悪性新生物 (46.0)	悪性新生物 (42.6)	悪性新生物 (38.1)	老衰 (23.5)	悪性新生物 (23.8)
2位	自殺 (25.0)	自殺 (30.8)	悪性新生物 (18.2)	心疾患 (16.7)	心疾患 (13.8)	心疾患 (14.6)	心疾患 (15.3)	心疾患 (13.4)	心疾患 (13.3)	悪性新生物 (16.4)	老衰 (16.8)
3位		心疾患 (15.4)	心疾患 (9.1) 脳血管疾患 (9.1) 不慮の事故 (9.1)	脳血管疾患 (14.6)	自殺 (11.9)	脳血管疾患 (5.6)	脳血管疾患 (4.0)	脳血管疾患 (4.0)	脳血管疾患 (5.4)	心疾患 (15.5)	心疾患 (14.9)

（男性）

	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	総数
1位	不慮の事故 (80.0)	不慮の事故 (44.4)	自殺 (37.5)	悪性新生物 (22.2)	悪性新生物 (35.9)	悪性新生物 (31.7)	悪性新生物 (40.7)	悪性新生物 (40.3)	悪性新生物 (38.9)	悪性新生物 (20.2)	悪性新生物 (27.1)
2位	自殺 (20.0)	自殺 (33.3)	悪性新生物 (12.5) 心疾患 (12.5) 脳血管疾患 (12.5)	心疾患 (14.8)	心疾患 (17.2)	心疾患 (18.3)	心疾患 (14.8)	心疾患 (17.0)	心疾患 (16.1)	老衰 (17.7)	心疾患 (14.9)
3位		心疾患 (22.2)		脳血管疾患 (11.1)	自殺 (12.5)	脳血管疾患 (6.7)	脳血管疾患 (6.2)	肺炎 (3.9)	脳血管疾患 (5.3)	心疾患 (13.9)	老衰 (11.6)

(女性)

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	不慮の事故 (33.3) 自殺 (33.3)	肝疾患 (25.0) 不慮の事故 (25.0) 自殺 (25.0)	悪性新生物 (33.3) 不慮の事故 (33.3) 自殺 (33.3)	悪性新生物 (42.9)	悪性新生物 (48.9)	悪性新生物 (55.2)	悪性新生物 (55.8)	悪性新生物 (47.8)	悪性新生物 (36.8)	老衰 (28.2)	老衰 (22.2)
2位				心疾患 (19.0) 脳血管疾患 (19.0)	自殺 (11.1)	心疾患 (6.9) 自殺 (6.9)	心疾患 (16.3)	心疾患 (5.4) 脳血管疾患 (5.4) 肝疾患 (5.4)	心疾患 (8.6)	心疾患 (16.8)	悪性新生物 (20.4)
3位					心疾患 (8.9) 脳血管疾患 (8.9)		腎不全 (4.7) 自殺 (4.7)		脳血管疾患 (5.7) 老衰 (5.7)	悪性新生物 (13.2)	心疾患 (14.8)

2) 主要死因別の死亡数・死亡総数に対する割合(令和5年)

	死亡数(人)			死亡総数に対する割合(%)	
	令和5年	令和4年	差引増減 (R5-R4)	令和5年	令和4年
全死因	3,569	3,529	40	100.0	100.0
悪性新生物	851	889	△ 38	23.8	25.2
心疾患	531	483	48	14.9	13.7
脳血管疾患	213	223	△ 10	6.0	6.3
肺炎	148	129	19	4.1	3.7
不慮の事故	116	96	20	3.3	2.7
慢性閉塞性肺疾患	28	36	△ 8	0.8	1.0
老衰	598	619	△ 21	16.8	17.5
腎不全	67	69	△ 2	1.9	2.0
大動脈瘤及び解離	47	48	△ 1	1.3	1.4
肝疾患	34	35	△ 1	1.0	1.0
糖尿病	38	34	4	1.1	1.0
喘息	3	1	2	0.1	0.0
高血圧疾患	18	24	△ 6	0.5	0.7
結核	4	4	0	0.1	0.1

3) 悪性新生物 部位別死亡割合 (%)

(男性)

部位	R2年	R3年	R4年	R5年	全国
気管・気管支及び肺	25.2	24.6	25.6	23.6	23.9
胃	12.5	13.9	12.5	13.0	11.4
大腸	14.5	12.7	14.4	13.8	12.6
肝臓	5.5	5.2	6.7	8.0	6.9
その他	42.3	43.6	40.8	41.5	45.2

※各項目、小数点第二位四捨五入

(女性)

部位	R2年	R3年	R4年	R5年	全国
大腸	18.9	18.1	16.8	17.1	15.6
気管・気管支及び肺	13.3	18.1	12.4	16.9	14.2
胃	10.6	9.6	8.6	10.2	8.3
肝臓	5.3	3.7	4.1	5.2	4.8
乳房	10.3	6.5	7.4	8.0	9.7
子宮	4.7	5.7	5.3	5.0	4.4
その他	36.9	38.3	45.4	37.6	42.9

※各項目、小数点第二位四捨五入

4) 年齢別 悪性新生物部位別死亡数

(全体)

部 位	R2 全体							R3 全体							R4 全体							R5 全体							R2~R5 全体											
	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数								
口唇・口腔及び咽頭	0	0	0	4	0	4	9	17	0	0	0	1	1	1	13	16	0	0	1	2	1	1	13	18	0	0	0	0	0	3	18	21	0	0	1	7	2	9	53	72
食道	0	0	0	1	1	5	16	23	0	0	0	2	2	3	27	34	0	0	0	0	2	2	5	9	0	0	0	1	0	3	16	20	0	0	0	4	5	13	64	86
胃	0	0	1	4	8	16	68	97	0	0	2	8	7	7	88	112	0	0	3	5	4	3	83	98	0	0	1	4	7	7	83	102	0	0	7	21	26	33	322	409
結腸	0	0	0	3	3	6	84	96	0	0	1	3	4	8	83	99	0	0	3	11	3	7	74	98	0	0	2	7	5	2	82	98	0	0	6	24	15	23	323	391
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	1	3	2	6	27	39	1	0	1	3	2	4	25	36	0	0	1	2	2	5	28	38	0	0	2	2	3	3	23	33	1	0	5	10	9	18	103	146
肝及び肝内胆管	0	0	0	4	1	3	37	45	0	0	0	0	3	4	35	42	0	0	0	0	4	3	44	51	0	1	0	1	0	4	53	59	0	1	0	5	8	14	169	197
膵臓及びその他の膵臓	0	0	1	3	1	2	29	36	0	0	0	0	2	0	41	43	0	0	0	1	0	2	27	30	0	0	0	0	1	2	30	33	0	0	1	4	4	6	127	142
肺	0	0	0	4	3	10	52	69	0	0	3	7	6	3	62	81	0	0	1	2	8	13	71	95	0	0	2	3	5	49	64	0	0	0	6	16	22	31	234	309
喉頭	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	8	9
気管・気管支及び肺	0	0	3	4	9	13	139	168	0	0	0	6	7	16	173	202	0	0	0	3	3	10	167	183	0	0	2	8	7	12	150	179	0	0	5	21	26	51	629	732
皮膚	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0	1	16	17
乳房	0	0	1	8	1	4	21	35	0	0	0	0	4	3	1	15	23	1	1	2	4	1	12	25	0	1	4	2	2	20	29	1	4	20	10	8	68	112		
子宮	0	0	3	2	1	1	9	16	0	0	1	3	3	4	9	20	0	0	3	2	1	2	10	18	0	1	4	3	0	1	9	18	0	1	11	10	5	8	37	72
卵巣	0	0	0	0	2	2	3	7	0	1	1	1	1	0	5	9	0	0	3	2	2	1	8	16	0	0	0	2	1	3	6	12	0	1	4	5	6	6	22	44
前立腺	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	0	1	3	0	25	29	0	0	0	1	0	2	30	33	0	0	0	0	0	0	27	27	0	0	1	2	4	3	110	120
膀胱	0	0	0	0	0	2	19	21	0	0	0	0	1	0	25	27	0	0	0	1	0	0	19	20	0	0	0	0	3	1	0	24	28	0	0	5	1	3	87	96
中枢神経系	2	0	0	0	0	3	1	6	0	1	0	0	0	1	3	1	0	1	2	1	1	4	10	0	0	0	0	0	2	5	7	3	1	1	2	1	7	11	26	
悪性リンパ腫	0	0	0	1	0	3	26	30	0	0	1	0	2	1	36	40	0	0	0	1	1	1	36	39	0	0	0	0	1	0	1	28	30	0	0	1	3	3	6	126
白血病	1	0	1	0	0	3	10	15	0	0	1	2	1	2	14	20	1	0	0	1	1	3	20	26	2	0	1	4	0	2	19	28	4	0	3	7	2	10	63	89
その他のリンパ組織・造血組織及び関連組織	0	0	0	1	1	1	8	11	0	0	0	1	0	0	8	9	0	0	0	2	0	1	14	17	0	0	0	1	0	0	8	9	0	0	0	5	1	2	38	46
その他	1	0	1	2	3	5	45	57	0	0	0	1	2	6	53	62	0	0	0	1	2	6	52	61	0	0	2	2	3	3	47	57	1	0	3	6	10	20	197	237
総 計	4	0	13	44	37	90	639	827	1	2	11	44	49	62	745	914	3	1	18	43	39	64	721	889	2	2	17	46	35	57	702	861	10	5	59	177	160	273	2,807	3,491

(男性)

部 位	R2 全体							R3 全体							R4 全体							R5 全体							R2~R5 全体												
	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	
口腔・口腔及び咽喉	0	0	0	2	0	2	5	9	0	0	0	1	1	1	7	10	0	0	1	2	1	1	4	9	0	0	0	0	3	16	19	0	0	1	5	2	7	32	47		
食道	0	0	0	1	1	5	15	22	0	0	0	2	2	3	23	30	0	0	0	0	1	1	5	7	0	0	0	1	0	3	12	16	0	0	0	4	4	12	55	75	
胃	0	0	1	3	6	10	41	61	0	0	1	5	5	5	62	78	0	0	1	4	1	3	60	69	0	0	1	3	4	5	52	65	0	0	4	15	16	23	215	273	
結腸	0	0	0	2	2	4	42	50	0	0	1	0	1	5	43	50	0	0	2	4	2	5	41	54	0	0	1	4	2	1	42	50	0	0	4	10	7	15	168	204	
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	0	2	2	3	14	21	1	0	1	2	2	4	11	21	0	0	0	0	1	2	4	18	25	0	0	1	1	2	1	14	19	1	0	2	6	8	12	57	86
肝及び肝内胆管	0	0	0	3	1	3	20	27	0	0	0	0	3	4	22	29	0	0	0	0	4	1	32	37	0	1	0	1	0	1	37	40	0	1	0	4	8	9	111	133	
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	2	1	1	10	14	0	0	0	0	2	0	21	23	0	0	0	1	0	1	15	17	0	0	0	0	0	0	18	18	0	0	0	3	3	2	64	72	
膵	0	0	0	2	1	5	22	30	0	0	2	3	2	3	36	46	0	0	1	2	5	7	34	49	0	0	1	1	4	3	24	33	0	0	4	8	12	18	116	158	
喉頭	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	
気管・気管支及び肺	0	0	1	3	9	12	98	123	0	0	0	4	7	14	113	138	0	0	0	3	3	9	126	141	0	0	1	7	4	9	97	118	0	0	2	17	23	44	434	520	
皮膚	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	5	6
乳房	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	0	1	3	0	25	29	0	0	0	1	0	2	30	33	0	0	0	0	0	0	27	27	0	0	1	2	4	3	110	120	
膀胱	0	0	0	0	0	2	16	18	0	0	0	1	0	0	17	18	0	0	0	0	0	0	16	16	0	0	0	2	1	0	19	22	0	0	0	3	1	2	68	74	
中枢神経系	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	2	1	0	2	7	0	0	0	0	0	2	3	5	1	0	1	2	1	5	6	16
悪性リンパ腫	0	0	0	1	0	3	17	21	0	0	1	0	2	1	21	25	0	0	0	0	1	1	17	19	0	0	0	1	0	0	15	16	0	0	1	2	3	5	70	81	
白血病	0	0	0	0	0	3	7	10	0	0	0	2	1	1	7	11	1	0	0	1	1	3	16	22	1	0	0	1	0	1	11	14	2	0	0	4	2	8	41	57	
その他のリンパ組織 造血組織及び関連組織	0	0	0	1	1	1	5	8	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	1	0	0	8	9	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	1	1	21	26		
その他	0	0	0	2	3	2	28	35	0	0	0	1	2	3	37	43	0	0	0	1	0	3	29	33	0	0	1	1	2	3	24	31	0	0	1	5	7	11	118	142	
総 計	0	0	3	24	28	60	373	488	1	0	6	23	33	44	454	561	2	0	6	23	22	41	456	550	1	1	6	23	19	33	416	499	4	1	21	93	102	178	1,699	2,098	

(女性)

部 位	R2 全体							R3 全体							R4 全体							R5 全体							R2~R5 全体												
	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	総数	
口腔・口腔及び咽喉	0	0	0	2	0	2	4	8	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	2	21	25		
食道	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	1	1	9	11	
胃	0	0	0	1	2	6	27	36	0	0	1	3	2	2	26	34	0	0	2	1	3	0	23	29	0	0	0	1	3	2	31	37	0	0	3	6	10	107	136		
結腸	0	0	0	1	1	2	42	46	0	0	0	3	3	3	40	49	0	0	1	7	1	2	33	44	0	0	1	3	3	1	40	48	0	0	2	14	8	8	155	187	
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	1	1	0	3	13	18	0	0	0	1	0	0	14	15	0	0	1	1	0	1	10	13	0	0	1	1	1	2	9	14	0	0	3	4	1	6	46	60	
肝及び肝内胆管	0	0	0	1	0	0	17	18	0	0	0	0	0	0	13	13	0	0	0	0	0	2	12	14	0	0	0	0	0	3	16	19	0	0	0	1	0	5	58	64	
胆嚢及びその他の胆道	0	0	1	1	0	1	19	22	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	0	1	12	13	0	0	0	0	1	2	12	15	0	0	1	1	1	4	63	70	
膵	0	0	0	2	2	5	30	39	0	0	1	4	4	0	26	35	0	0	0	0	3	6	37	46	0	0	1	2	1	2	25	31	0	0	2	8	10	13	118	151	
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
気管・気管支及び肺	0	0	2	1	0	1	41	45	0	0	0	2	0	2	60	64	0	0	0	0	0	1	41	42	0	0	1	1	3	3	53	61	0	0	3	4	3	7	195	212	
皮膚	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	1	11	
乳房	0	0	1	8	1	4	21	35	0	0	0	4	3	1	15	23	1	1	2	4	4	1	12	25	0	0	1	4	2	2	20	29	1	1	4	20	10	8	68	112	
子宮	0	0	3	2	1	1	9	16	0	0	1	3	3	4	9	20	0	0	3	2	1	2	10	18	0	1	4	3	0	1	9	18	0	1	11	10	5	8	37	72	
卵巣	0	0	0	0	2	2	3	7	0	1	1	1	1	0	5	9	0	0	3	2	2	1	8	16	0	0	0	2	1	3	6	12	0	1	4	5	6	6	22	44	
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
膀胱	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	8	9	0	0	0	1	0	0	3	4	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	2	0	1	19	22	
中枢神経系	2	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	2	5	10			
悪性リンパ腫	0	0	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	15	15	0	0	0	1	0	0	19	20	0	0	0	0	0	1	13	14	0	0	1	0	1	5	6	58	
白血病	1	0	1	0	0	0	3	5	0	0	1	0	0	1	7	9	0	0	0	0	0	4	4	1	0	1	3	0	1	8	14	2	0	3	3	0	2	22	32		
その他のリンパ組織 造血組織及び関連組織	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	1	6	8	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	2	0	1	17	20	
その他	1	0	1	0	0	3	17	22	0	0	0	0	0	3	16	19	0	0	0	0	2	3	23	28	0	0	1	1	1	0	23	26	1	0	2	1	3	9	79	95	
総 計	4	0	10	20	9	30	266	339	0	2	5	21	16	18	291	353	1	1	12																						

5) 悪性新生物 部位別死亡数 (令和2年～令和5年累計)

		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	70歳未満の 死亡数	70歳未満 死亡の割合
		再計								
胃	男	0	0	4	15	39	215	273	58	21.2%
	女	0	0	3	6	20	107	136	29	21.3%
大腸	男	1	0	6	16	42	225	290	65	22.4%
	女	0	0	5	18	23	201	247	46	18.6%
肺	男	0	0	2	17	67	434	520	86	16.5%
	女	0	0	3	4	10	195	212	17	8.0%
子宮	女	0	1	11	10	13	37	72	35	48.6%
乳	女	1	1	4	20	18	68	112	44	39.3%

6) 75歳未満年齢調整死亡率

悪性新生物

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	70.8	69.1	65.7	66.3	63.8	66.0	63.3
男	93.0	84.1	82.6	80.8	86.7	81.2	72.0
女	50.4	55.8	50.3	53.5	43.0	52.9	55.9

胃がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	6.2	10.4	5.3	9.2	8.9	6.2	7.2
男	8.0	13.1	9.0	13.8	12.6	7.8	10.3
女	4.6	7.8	1.8	4.8	5.4	4.8	4.2

大腸がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	11.2	13.3	15.9	11.3	14.8	16.9	14.3
男	10.6	16.3	22.2	13.9	21.3	22.8	14.1
女	11.8	10.3	9.8	8.8	8.5	11.4	14.4

肝がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	3.2	4.4	3.6	3.1	2.7	2.4	2.6
男	6.6	6.3	4.9	4.8	5.3	3.9	3.8
女	0	2.5	2.4	1.4	0.3	0.9	1.4

肺がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	11.7	11.3	13.0	12.2	11.9	9.7	12.4
男	21.9	17.4	20.6	19.8	20.4	17.2	17.0
女	2.1	5.7	6.0	5.2	4.1	2.9	7.9

乳がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	10.3	14.5	10.3	10.0	4.7	9.2	5.7
女	10.3	14.5	10.3	10.0	4.7	9.2	5.7

子宮がん

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
総数	4.9	3.8	7.1	5.5	6.3	6.1	6.1
女	4.9	3.8	7.1	5.5	6.3	6.1	6.1

II. 保健企画課

1. 安心の地域医療検討委員会

1) 四日市市安心の地域医療検討委員会

保健、福祉、医療の連携体制など地域医療の推進を図るため、地域医療の在り方や今後の方向性について協議した。

	開催日	内 容
1	令和6年 7月23日(火)	1. 報告 ・令和5年度在宅医療推進事業について ほか 2. 議事 ・退院時カンファレンスマニュアル2022の改訂に向けて ・若年がん患者への在宅療養支援について ・在宅医療の後方支援体制について
2	令和7年 1月15日(水)	1. 報告 ・令和6年度在宅医療推進事業(中間報告)について ほか 2. 議事 ・退院時カンファレンスマニュアル2022の改訂に向けて ・大規模災害時における関係機関の連携体制について ①情報の伝達 ②医療の提供(初期体制・医療救護所)

2) 市民啓発推進部会

市民が在宅医療やACP(人生会議)などについて理解を深め、自己の医療やケアに対する希望が実現できるようにするための適切な情報提供及び啓発支援等について協議した。

	開催日	議 事
1	令和6年 10月9日(水)	・ACP普及啓発ツールの制作・活用について ・今後のACP普及啓発に向けた取組について
2	令和7年 1月22日(水)	・ACP普及啓発ポスター、チラシ、動画の制作・活用について ・「はじめての在宅医療」の改訂について ・今後のACP普及啓発に向けた取組について

2. ケアマネジャー等向け研修会

適正なケアプランを策定できるよう、意見交換会を開催した。

	開催日	講 義 内 容	受講者数
1	令和7年 3月10日(月)	“つながる”意見交換会 ケアマネジャー×在宅主治医(対面) 重盛外科内科 院長 重盛 恒彦 氏 みたき総合病院 総合心療科医長 森 洋平 氏 いくわ診療所 院長 田中 啓太 氏	22人

2	令和7年 3月12日(水)	“つながる”意見交換会 ケアマネジャー×地域連携室(対面) 総合心療センターひなが/水沢病院/三原クリニック	22人
---	------------------	---	-----

3. 訪問看護師関係研修事業

1) 講演会

潜在看護師等に対し、訪問看護を含む在宅医療への理解と就業意欲を醸成することを目的として、在宅医療・看護に関する講演会を実施した。

(1) 日程・講演内容

開催日	講演内容	講師	受講者数
令和6年 8月23日(金)	「在宅医療の今と看護への期待」	いしが在宅ケアクリニック 院長 石賀 丈士 氏	27人
令和6年 12月6日(金)	「訪問看護の仕事」	訪問看護サービス利用者 青木 健太 氏 サンライズ訪問看護ステーション 管理者 山崎 衣緒理 氏	13人

2) 訪問看護基礎研修

潜在看護師や就労中の訪問看護に興味のある現役看護師、訪問看護師に対し、在宅看護、訪問看護の基盤となる知識・技術を習得、復習するための研修を、オンデマンド講義にて実施した。

(1) 日程・講義内容

	開催日	講義内容	講師
1	オンデマンド 視聴期間 令和6年9月1日 ～ 11月30日	訪問看護概論	四日市医師会訪問看護ステーション 管理者 川島 典子 氏
2		訪問看護に関する制度	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 管理者 松下 容子 氏
3		ケアマネジメントと 多職種連携	四日市看護医療大学 助教 中村 いお美 氏
4		在宅で多い医療的ケア	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 看護師 碓田 弓 氏
5		自立に向けた援助	四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション 副看護師長 東川 亜依子 氏
6		在宅療養でのリスク管理	訪問看護リハビリステーションあすか 管理者 森 あゆみ 氏
7		対象別訪問看護論① 小児	ナーシングホームもも四日市 管理者 筒井 みどり 氏
8		対象別訪問看護論② 精神	心の訪問看護ステーションひなが 管理者 島本 美保子 氏

(2) 受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	10人
病院・診療所	2人
潜在看護師	1人
合計	13人

3) 訪問看護師スキルアップ

訪問看護ステーションの訪問看護師が、身近なところで必要な知識・技術を修得できる場として研修を実施した。

(1) 日程・講義内容

※原則、第3金曜日

	開催日	講義内容	講師	受講者数
1	令和6年9月20日	呼吸ケア① (講義)	訪問看護ステーションいくわ 理学療法士 徳力 康治 氏	24人
2		呼吸ケア② (実技)		
3	令和6年11月22日	ストマケア	三重県立総合医療センター 皮膚排泄ケア認定看護師 大川 恵美 氏	32人
4	令和6年12月13日	急変時の対応	三重県立総合医療センター 急性・重症患者看護専門看護師 奥田 美香 氏	30人
4	令和7年2月28日	排便ケア	エンド・オブ・ライフケア協会 理事 久保田 千代美 氏	2人

4) 看護師派遣研修事業

在宅医療に対する研修事業に協力してもらえる訪問看護ステーションを募り、病院や介護事業所に勤務する看護師を協力訪問看護ステーションへ派遣し、病院から在宅への移行をより円滑に行い、市民が安心して在宅療養生活を送ることができるように研修を実施した。

派遣元内訳	受講者数
県立総合医療センター	6人
四日市羽津医療センター	2人
市立四日市病院	2人
合計	10人 (延べ10日間)

4. 在宅医療支援病床確保事業

在宅医の疲弊を軽減し、在宅医療を手掛けようとする医師の確保、並びに在宅医療を受けることを希望する市民・患者が安心できるように、在宅医が在宅患者の入院が必要と判断したとき、スムーズな受け入れができる体制を地域で構築する事業を実施した。

※事業対象となる例：肺炎等による発熱、食欲低下による全身状態悪化、脱水症状、運動機能低下等により、在宅でのQOL（生活の質）の低下が予測される場合など

※協力医療機関：石田胃腸科病院、小山田記念温泉病院、主体会病院、
富田浜病院、みたき総合病院、山中胃腸科病院（計6カ所）

※利用期間：1回につき14日間以内

利用状況

年 度	利 用 件 数	参 考
令和6年度	15件（延べ133日間）	令和3年度 10件（延べ110日間） 令和4年度 11件（延べ105日間） 令和5年度 11件（延べ106日間）

5. 在宅医療啓発活動補助事業

在宅医療の啓発を行う市民活動について経費の一部を補助した。

	団体名	事業名・内容	講師	開催日・会場
1	三重西社会福祉協議会	「サプリメントの基本的な使い方」 ○サプリメントとは何か、その使い方、基本的な考え方を学ぶ。	四日市市薬剤師会 薬剤師 大森 理彦 氏	令和6年6月22日（土） 三重西小学校体育館
2		「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）/特殊詐欺の防ぎ方について」 ○ACPの大切さ、高齢者や在宅療養生活を取り巻く、特殊詐欺のリスク等を学ぶ。	四日市北防犯協会 松岡 江梨子 氏	令和6年9月7日（土） 三重西小学校体育館
3	日永ついたち会	「在宅医療ってなに？」 ○自宅で医療を受けながらも安心して過ごせるための在宅医療の制度を学ぶ。	笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治 氏	令和6年7月28日（日） 日永中之瀬古会館
4	川島地区福祉教室実行委員会	「老化による目の病気」 ○白内障や緑内障等の目のトラブルや在宅療養中における予防策や対処方法を学ぶ。	宇治眼科 院長 宇治 彰人 氏	令和6年10月6日（日） 川島地区市民センター 大会議室

5	川島地区福祉教室実行委員会	「四日市市の在宅医療の現状について」 ○一般の病院での医療との違いなど、在宅医療について理解を深める。	いしが在宅ケアクリニック 副院長 伊藤 由恵 氏	令和7年1月19日(日) 川島地区市民センター 大会議室
6	県地区社会福祉協議会	「薬と薬剤師」 ○薬に関する正しい知識と薬剤師の役割について学ぶ。	四日市市薬剤師会 薬剤師 平安幸 氏	令和6年11月30日 (土) 県地区市民センター 会議室
7	桜地区社会福祉協議会	「高齢者に多い皮膚トラブルについて」 ○在宅医療の概要と高齢者の皮膚トラブルについて学ぶ。	内田皮膚科 医師 内田 修輔 氏	令和7年1月19日(日) 桜地区市民センター 大会議室
8	シニアサークル「男の囲炉裏端」の会	「在宅医療啓発講座」 ○自宅での看取りを実現するために使えるサービスや具体的な介護方法について学ぶ。	JCHO 四日市羽津医療センター 附属訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 東川 亜衣子 氏	令和7年1月30日(木) なやプラザ会議室
9	三重北社会福祉協議会	「在宅療養の種類と利用状況・利用対象と申請の仕方・今知っておきたいこと」 ○地区の実情に詳しいケアマネジャーによる在宅医療と介護の現状と課題、サービスへのつながり方を学ぶ。	三重福祉会 陽光苑 大河内 美代 氏 吉原 菜穂子 氏	令和7年2月1日(土) 坂部が丘中央集会所
10			三重北社会福祉協議会 会長 片岡 博 氏	令和7年2月8日(土) 大沢台集会所

6. 在宅医療・介護連携支援事業

四日市市在宅医療・介護連携支援センター（愛称：つなぐ）において、医療・介護関係者からの相談支援を行うなど、医療と介護の連携強化に努めた。

1) 相談件数

	医療機関からの相談	介護機関からの相談	合計
相談件数	398 件	684 件	1,082 件

2) 訪問件数

	医療機関への訪問	介護機関への訪問	合計
訪問件数	24 件	100 件	124 件

7. 介護・看護人材育成研修

介護職・看護職の不足が懸念されていることから、各職種のスキルアップ研修を実施し、市内の介護現場への定着、就業意欲が高められるよう支援をした。

1) 介護職向けスキルアップ研修会

(1) 勤続年数おおむね3年目程度の職員対象（初級研修）

	開催日時	講義内容	講師	受講者数
1	令和7年2月20日（木）	「利用者の尊厳を守る接遇」	四日市福祉専門学校 伴野 千登勢 氏	19人

(2) 勤続年数おおむね10年目程度の職員対象（中堅研修）

	開催日時	講義内容	講師	受講者数
1	令和7年2月20日（木）	「介護職員を守る利用者の安全・安心の確保」	四日市福祉専門学校 小林 加奈 氏	18人

2) 看護職向け研修会

※原則、第3金曜日

	開催日	講義内容	講師	受講者数
1	令和6年 10月18日	フィジカルアセスメント①	みんなのかかりつけ訪問看護ステーション四日市 管理者 松下 容子 氏	17人
2		フィジカルアセスメント②		
3	令和6年 11月22日	褥瘡ケア	三重県立総合医療センター 皮膚排泄ケア認定看護師 大川 恵美 氏	17人
4	令和7年 1月31日	看取りにおける多職種連携	特別養護老人ホームもも大安 施設長 島村 真美 氏	16人
6	令和7年 2月28日	排便ケア	エンド・オブ・ライフケア協会 理事 久保田 千代美 氏	7人

8. がん患者・家族支援事業

1) 「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン」 in 四日市

がん患者とその家族への支援のため、三重県がん相談支援センターとの共催により、地域における情報交換と交流の場として、年6回サロンを開催した。

(1) 開催状況

※いずれも水曜日 四日市市総合会館

開催日	参加人数	サポーター等関係者
令和6年4月10日	7人	6人
令和6年6月5日	5人	5人
令和6年8月14日	3人	6人
令和6年10月9日	5人	5人
令和6年12月11日	8人	6人
令和7年2月12日	6人	6人

2) 四日市市若年がん患者在宅療養支援事業

若年がん患者及びその家族の、在宅における生活の支援や、身体的・経済的な負担を軽減するため、介護保険制度に準じた在宅介護サービス、福祉用具貸与等の公費助成を令和6年度10月から開始した。(令和6年度利用者：1名)

9. 応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行った。

- ① 診療日 : 日曜日、祝（休）日、12月31日、1月1日、1月2日、1月3日
- ② 診療時間 : 10:00～12:00 13:00～16:00
- ③ 診療科目 : 内科、小児科、耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科は日曜日のみ）

1) 受診状況

年度	内科 (人)	小児科 (人)	耳鼻科 (人)	計 (人)	一日平均
					() は診療日数
令和6年度	1,388	1,298	418	3,104	43.7人 (71日)
令和5年度	2,404	2,209	312	4,925	69.4人 (71日)
令和4年度	1,400	1,212	243	2,855	40.8人 (70日)

2) 運営委員会開催状況

※Zoomを利用してオンライン上で開催した。

	開催日	議 事
1	令和6年 10月22日(火)	1. 会長、副会長の選任について 2. 報 告 1) 令和5年度運営状況について 2) その他報告事項について 3. 議 事 1) 1 応急診療所における採用薬剤について 2 検査キットについて 2) 電子カルテの運用について 3) 感染症対応について

10. 歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行った。

1) 診療日及び診療時間

応急診療：12月30日、12月31日、1月1日、1月2日（9：00～11：30）

障害者（児）診療（予約制）：火、木曜日（13：30～16：30）

木曜日（9：30～12：00）

月概ね2回日曜日（9：30～12：30）

※祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

2) 受診状況

年度	休日診療			障害者診療			
	診療実日数（日）	受診者数（人）	1日平均（人）	診療実日数（日）	受診者数（人）		一日平均（人）
					延数	新患再掲	
令和6年度	4	62	15.5	93	1,852	841	19.9
令和5年度	4	49	12.2	92	1,774	755	19.3
令和4年度	4	48	12.0	92	1,774	651	19.3

3) 運営委員会開催状況

	開催日	議 事
1	令和6年 10月10日（木）	1. 事業報告（令和5年度事業報告・令和6年度事業経過報告等） 2. 協議事項 (1) 個室化について (2) 病診連携について (3) 障害者雇用について (4) 公共施設アセットマネジメントについて

11. 四日市市地域保健運営協議会

地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後反映していく目的で協議会を開催とした。

回数	開催日	議 事
第1回	令和7年3月10日（月）	1. 四日市市保健医療推進プランの進捗状況について 2. 令和7年度 医療・保健・衛生関連事業について

12. 四日市地域救急医療対策協議会

救急搬送及び救急医療体制の充実強化、感染症などの健康危機事例発生時の迅速かつ的確な対処などについて検討を行い、平常時からの連携体制を確保していくことを目的に協議会を開催した。

回数	開催日	議 事
第1回	令和7年3月12日(水)	1. 報告 (1) 四日市地域メディカルコントロール協議会報告 (2) 輪番日受入患者数実績報告 (3) 救急医療情報システム運営状況 (4) 四日市市医療救護所開設訓練の実施 (5) 災害医療に関する情報伝達訓練の実施(三泗地域) 2. 議事 (1) 四日市市新型インフルエンザ等対策行動計画改定について

13. 四日市地域メディカルコントロール協議会

救急救命士に対する指示体制や、病院前救護など、メディカルコントロール体制に係る調整や整備により、救急搬送・救急医療体制の充実強化を図ることを目的に協議会を開催した。

回数	開催日	議 事
第1回	令和7年2月26日(水)	1. 過去5年間の医療機関別搬送状況 2. 過去5年間の病院収容決定までの問い合わせ回数状況 3. 処置拡大行為実施状況 4. 救急ワークステーションの運用実績について 5. 救急出動に関する時間調査 6. 転院搬送に関する調査 7. 高齢者の搬送状況について 8. 成人(18歳以上65歳未満)の生存調査について 9. 心肺蘇生を望まない傷病者に関する調査

1 4. 健康危機（災害・感染症等）への対応

関係機関と連携し、災害・感染症発生時に対する訓練や人材確保を行った。

1) 医療救護所開設訓練の実施

大規模災害に備え、四日市市と四日市医師会をはじめとする関係機関が、医療救護所の開設訓練の実践と検証を通じ、より実効性のある医療救護活動マニュアルの整備と災害時の即応体制の確立を図った。

開催日	訓練内容	参加者所属	参加数
令和6年 6月27日(木)	場所：笹川内科胃腸科クリニック ・ 参集訓練 ・ 設営訓練 ・ 医療救護訓練	四日市医師会・株式会社スズケン・四日市市（保健企画課・保健予防課・食品衛生検査所・子ども保健福祉課・危機管理課・消防救急課）	39人

2) 医療情報に関する情報伝達訓練の実施（三泗地域）

大規模災害時における迅速・的確な情報伝達体制の確認と検証のため、医療情報の収集、伝達等に関する訓練を実施した。

開催日	訓練内容	市内参加機関数
令和6年 11月12日(火)	場所：四日市市保健所 ・ 被災状況の情報伝達訓練 ・ 三重県等とのZOOM会議による情報共有訓練	病院 21 診療所 150 歯科診療所 60 薬局 114

3) 感染症に関する人材の確保

健康危機が発生した際、積極的疫学調査や健康観察等の専門的な保健所業務を支援する保健師・看護師・臨床検査技師等の外部専門人材（IHEAT）の確保を令和6年度から開始した。

年度	IHEAT 登録者数		
	保健師・看護師	臨床検査技師	合計
令和6年度	13人	9人	22人

15. 各種統計・報告

1) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ることを目的に、衛生行政の実態を把握した。

2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的な推進を行っていくための基礎資料を得ることを目的として実態を把握した。

3) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握した。

4) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために、静態調査は3年毎に実施し、動態調査は月毎に実施している。（静態調査：令和6年度は非該当）

5) 国民生活基礎調査

国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的として毎年度実施している。

6) 患者調査

病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和6年度は非該当）

7) 受療行動調査

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施している。（令和6年度は非該当）

16. 免許の申請、書き換え交付状況

医師、歯科医師その他の保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行った。

令和6年度

	新規申請 (件)	書き換え (件)	再交付 (件)	抹消 (件)	計 (件)
医 師	30	10	1	3	44
歯 科 医 師	4	0	0	1	5
保 健 師	34	37	0	0	71
助 産 師	6	6	0	0	12
看 護 師	133	129	8	0	270
准 看 護 師	8	10(4)	6(1)	0	24(5)
栄 養 士	21	28	6	0	55
臨 床 検 査 技 師	14	7	0	0	21
衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0
診 療 放 射 線 技 師	8	3	1	0	12
理 学 療 法 士	30	10	2	0	42
作 業 療 法 士	9	5	0	0	14
薬 剤 師	13	17	2	1	33
管 理 栄 養 士	15	23	3	0	41
視 能 訓 練 士	5	1	0	0	6
合 計	330	286	29	5	650

() 内の数字は県外免許の数 (内数)

17. 病院・診療所・助産所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院、診療所及び助産所に対して立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行った。

1) 病院・診療所・助産所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

年度	病院（毎年実施）			診療所・助産所 （概ね5年に1度実施）		
	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （%）	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （%）
令和6年度	13	13	100.0	419	85	20.3
令和5年度	13	13	100.0	420	84	18.7
令和4年度	13	13	100.0	425	46	11.0

(2) 病院立入実施結果

年 度	令和6年度	
指 摘 内 容	病院数（件）	不備率（%）
医療安全管理体制の整備	13	0
医療従事者に対する健康診断の実施	13	0
医療従事者の不足	13	0
その他	13	0

(3) 診療所・助産所立入実施結果

年 度	令和6年度	
指 摘 内 容	診療所・助産所数 （件）	不備率（%）
医療安全管理体制の整備	85	0
医療従事者に対する健康診断の実施	85	0
その他	85	0

18. 衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行った。

19. 医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行った。

1) 市内医療関係施設数

	病院	医科 診療所	歯科 診療所	歯科 技工所	助産所	施術所	衛生 検査所	合計
令和6年度	13	263	147	32	9	309	1	774
令和5年度	13	263	148	33	9	305	2	773
令和4年度	13	268	150	33	7	307	2	780

各年度末の施設数

2) 確認検査と開設・廃止状況

(件)

	確認検査		開設許可		開設届 ※		廃止		使用許可	
	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
病院	2	1	0	0	0	0	0	0	14	20
医科診療所	10	6	16	3	19	8	19	14	0	0
歯科診療所	1	7	1	3	2	7	3	9	0	2
歯科技工所	0	0	-	-	0	0	1	0	-	-
助産所	1	3	0	0	1	3	1	1	0	0
施術所	10	17	-	-	15	16	11	19	-	-
衛生検査所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
総数	24	34	17	6	37	34	36	43	14	22

※施術所の「出張施術業務開始届」を含む

3) 市内病院及び許可病床数

令和7年3月末現在

	許可病床数					
	一般	療養	精神	結核	感染	総数
三重県立総合医療センター	409				4	413
市立四日市病院	535				2	537
四日市羽津医療センター	226					226
みたき総合病院	111	88				199
主体会病院	98	130				228
小山田記念温泉病院	222	155				377
医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター	20	20				40
富田浜病院	47	106				153
総合心療センターひなが			480			480
山中胃腸科病院	48	45				93
石田胃腸科病院	38					38
水沢病院		38	174			212
四日市徳新会病院		42				42
計	1,754	624	654		6	3,038

Ⅲ. 保健予防課

1. 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供、療養支援及び接

触者に対する健康診断を実施し、早期発見・早期治療につなげることで、結核のまん延防止に努めた。

また、結核定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を行い、結核の予防を図った。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）

令和6年1月1日～令和6年12月31日 (人)

分類別 年齢	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外 結核 活動性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結核 菌陽性	菌陰性 その他		
			総 数	初回治療	再治療				
総 数	28	26	10	10	0	11	5	2	10
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	4	3	0	0	0	1	2	1	0
30～39	2	2	0	0	0	0	2	0	2
40～49	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59	2	1	1	1	0	0	0	1	1
60～69	1	1	0	0	0	1	0	0	0
70～	19	19	9	9	0	9	1	0	7

(2) 新登録患者数・罹患率の推移

() は、喀痰塗抹陽性患者数の再掲

	令和6年	令和5年	令和4年
新登録患者数(人)	28(10)	31(11)	20 (9)
罹患率(人口10万対)	9.1	10.6	6.4

※新登録患者のうち、潜在性結核感染症除く

(3) 年末現在登録者数（活動性分類・受療状況別）

令和6年12月31日現在（人）

分類別 区分	総数	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症
		登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性	菌陰性その他				
		初回治療	再治療						
総数	52	6	0	8	3	3	32	0	8
入院	4	4	0	0	0	0	0	0	0
外来医療	16	2	0	8	3	3	0	0	4
医療なし	32	0	0	0	0	0	32	0	4
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第37条の2申請状況（通院医療）

令和6年1月1日～令和6年12月31日（件）

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	その他	(別掲)変更申請
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
申請件数	49	8	6	6	0	0	21	5	0	3
承認件数	48	8	6	6	0	0	20	5	0	3

(2) 感染症法第37条申請状況（入院患者の医療）

令和6年1月1日～令和6年12月31日（件）

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除報告（別掲）	
					入院	就業制限
申請件数	43	12	31	0	13	9
承認件数	43	12	31	0		

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

	新規数	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者	生活保護	その他
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
令和6年	13	1	0	1	0	0	10	1	0
令和5年	12	3	2	2	0	0	5	0	0

3) 結核検診

(1) 定期診断実施状況

令和6年度 (人)

区分 対象別	受診項目別 (延べ人数)				被発見者数 (実人数)	
	間接撮影	直接撮影	喀痰	その他 (※1)	結核患者	発病の おそれあり
事業所	1,212	13,056	0	14	1	0
学校	2,597	2,123	1	0	1	0
施設	495	1,488	0	0	0	0
一般住民	0	11,651	0	0	0	0
総数	4,304	28,318	1	14	2	0

※1 CT検査等

(2) 接触者健診および管理検診実施状況

令和6年度 (人)

区分 対象別	対象者数 (実人数)	検査実施 人数 (延べ人数)	受診項目別 (延べ人数)			被発見者数 (実人数)			
			ツベルク リン反応 検査	IGRA 検査 (※2)	直接 撮影	結核患者	潜在性結 核感染者 (※3)	発病の おそれ あり	
接触者	患者家族	19	28	0	27	1	0	1	0
	その他	29	51	2	48	1	0	0	0
	総数	48	79	2	75	2	0	1	0
管理検診 (※4)	12	12	0	0	12	0	0	0	0

※2 結核菌に感染しているかどうかを調べる血液検査

※3 結核に感染しているが、発病していない状態で、結核医療を必要とする者

※4 結核治療終了後の患者等に対して実施する検診

4) 結核健康相談

結核登録患者や家族を対象に訪問するなどして、保健指導を実施した。

(件)

保健指導件数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
所内面接件数	21	26	11
訪問指導件数	48	61	26
電話相談件数	273	375	305

5) 直接服薬確認 (DOTS) 事業

(1) DOTS支援状況

(人)

	対象者数	支援方法		
		面接・訪問	郵送	電話連絡
令和6年度	45	18 (83)	8 (58)	19 (138)
令和5年度	51	16 (48)	8 (40)	27 (117)
令和4年度	39	6 (16)	3 (12)	30 (123)

() 内は、延人数

(2) DOTSカンファレンス

結核治療の完遂のため、結核病床を有する医療機関と支援状況等を情報共有するDOTSカンファレンスに参加した。

令和6年度

実施場所	実施日	参加者	対象者数
三重中央医療センター	令和6年4月18日 令和6年5月16日 令和6年6月20日 令和6年8月15日 令和7年1月17日	担当医、病棟看護師、病棟薬剤師、医療社会専門員、保健所保健師	入院：11件

2. 地域精神保健福祉対策

1) 措置・移送業務

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他精神的な健康の保持増進に努めた。

(1) 精神障害者保護取扱状況

(件)

	申請・通報件数						通報等による調査結果の処 理		指 定 医 診 察 結 果		措置非該当の場合の結果	
	計	法22条	法23条	法26条の2	法26条の3	法27条第2項	診察必要	診察不要	措置該当	措置非該当	医療保護入院	その他
令和6年度	55	0	55	0	0	0	52	3	26	26	8	18
令和5年度	49	0	49	0	0	0	48	1	26	22	3	19
令和4年度	54	0	54	0	0	0	53	1	30	23	10	13

※精神保健福祉法

第22条：親族又は一般人からの申請 第23条：警察官の通報

第26条の2：精神科病院の管理者の届出

第26条の3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報

第27条第2項：市長職務診察

(2) 病名別・措置入院者数

(件)

	総 数	認 知 症	ア ル コ ー ル	依 存 症	薬 物 依 存 症	統 合 失 調 症	双 極 性	感 情 障 害	そ う 病	う つ 病	人 格 障 害	そ の 他
男 性	13	0	0	0	0	7	1	0	1	0	0	4
女 性	13	0	0	0	0	4	2	1	0	1	1	5
令和6年度 措置患者総数	26	0	0	0	0	11	3	1	1	1	1	9
令和5年度 措置患者総数	26	2	0	0	0	9	3	0	3	2	2	7
令和4年度 措置患者総数	30	1	0	0	0	10	4	2	2	3	3	8

(3) 四日市市保健所精神措置等連携会議

関係機関：医療機関、警察署

内 容：精神措置業務や精神保健相談に係る情報共有及び連携について

開催日：令和6年11月21日(木)

出席者数：5人

2) 手帳・医療の助成業務**(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況**

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
1 級	222	221	211
2 級	2,323	2,161	2,087
3 級	1,264	1,102	1,006
合 計	3,809	3,484	3,304

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
交付数	7,239	7,012	6,918

3) 地域精神保健福祉対策業務**(1) 精神保健福祉相談**

精神疾患の治療やその対応等について、相談指導に医師、保健師等が応じ、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図った。また、医療や福祉を必要とする精神障害者に適切な関係機関を紹介した。

対 象：本人、家族、その他

周知方法：広報よっかいち掲載、チラシ配布など

場 所：四日市市総合会館

(件)

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談件数		4,229	4,264	4,548
内訳	面接	446	576	665
	電話(メール含む)	3,418	3,376	3,594
	訪問	365	312	289

医師による精神保健福祉相談(再掲)

実施日：原則 毎月第2木曜日及び第4金曜日 年24回
 思春期相談 年3回
 アルコール関連問題相談 年1回

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
来所相談	31	34	65
家庭訪問	3	1	2

(2) 普及啓発

① こころの健康講座

広く市民がこころの健康や病気について正しく理解することにより、こころの健康の保持増進を図るとともに、本人または家族、知人にこころの病気が疑われる時に適切に対応し、必要な相談や受診につながることを目的として実施している。

対象：市民、市内通学・通勤者

場所：四日市市勤労者・市民交流センター

内容：精神科医・公認心理師による講演、家族会・当事者との交流

(人)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
参加者人数	74	79	72

② こころの健康づくり講演会

地域住民がこころの健康の保持、増進を図り、こころの健康や病気について正しい知識を得ることで、適切に相談や受診につながるよう実施している。

対象：市民、市内通学・通勤者

場所：四日市市文化会館 第2ホール

内容：『私は私』で生きるには～全ての女性により良い明日を～

講師：イーク表参道 副院長 高尾 美穂 氏

(人)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
参加者人数	512	193	95

③ 地区出前講座・地区依頼健康教育

回数：7回

参加者：243人

内容：精神疾患の正しい理解、自殺予防、ストレスケア等

(3) 自殺予防対策

① 自殺対策連絡会議

本市の現状を把握し、各関係機関が課題等の実態を共有し、関係機関に訪れた人の日常の中に隠れている自殺の兆候に気づき、支援体制を整えるなど庁内の総合的な取り組みを行っていくための情報共有、研修、情報交換等を実施し、相談に対する職員の意識の向上を図った。

対象：人権施策推進委員会相談体制部会員

四日市市人権にかかる相談ネットワーク連絡会会員

各地区市民センター職員

自殺予防対策に係る関係職員

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク会員

自立支援協議会こころのバリアフリー推進部会会員等

【第1回】

内容：「発達障害児の理解 ～子どもが自分らしく生きられる社会を目指して～」

講師：NPO 法人ライフ・ステージ・サポートみえ理事長 西田 寿美 氏

参加者：27人

【第2回】

内容：「自死対策とはなにか？そして地域に大切なこと」

講師：川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター所長 竹島 正 氏

参加者：21人

② 普及・啓発

自殺対策基本法に基づき、「自殺予防週間」や「自殺対策強化月間」に、自殺対策への関心を高めるための普及啓発活動を集中的に実施した。

(i) 自殺予防週間 (9月10日～9月16日)

- ・ 庁内関係部署に啓発用ポスター、パンフレット、ティッシュ配布
- ・ 広報掲載、市ホームページ掲載、庁内モニターの放映

(ii) 自殺対策強化月間 (3月)

- ・ 庁内関係部署に啓発用ティッシュ等配布
- ・ 市内大学・専門学校や遊技場に啓発用ティッシュ等配布
- ・ 市内の路線バス（三重交通）のバスマスク掲示
- ・ 広報「健康だより」掲載
- ・ 働く世代の健康情報掲載
- ・ 近鉄四日市駅、近鉄富田駅、あすなろう鉄道構内ポスター掲示

・市立図書館2階にパネル、関係書籍、パンフレット等の展示

③ メンタルパートナー養成研修 <ゲートキーパー>

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人や悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人の養成を実施し、支援のネットワークづくりに努めた。

内 容：自殺の現状とその背景にある問題、自殺のサイン、声のかけ方
メンタルパートナーとしての役割等（DVD視聴含）

回 数：8回

参加者：762人（研修・講座・講演会等重複）

④ 自殺未遂者支援

自殺未遂者の再企図防止のため、救命救急センターと連携し、支援の在り方を検討するための検討会を実施した。市内精神科病院・四日市市教育委員会（指導課）・消防等が参加し、より連携を深めることができた。

・自殺未遂者支援検討会

場 所 三重県立総合医療センター 会議室

回 数 5回（隔月開催、2月中止）

・臨床心理士との自殺未遂者事例検討会

場 所 四日市市総合会館

回 数 3回

⑤ 四日市市人権研修リーダー養成講座

働く世代の自殺率を減少させるため、事業所に対し効果的にメンタルヘルスについての正しい知識の普及、適切な支援につなげるため、四日市市人権啓発企業連絡会の協力を得て、研修会を開催した。

内 容：「怒りと上手に向き合おう『アンガーマネジメントのすすめ』」

講 師：泊ファミリークリニック

看護師・産業カウンセラー 猪野 美春 氏

参加者：46人

（4）組織の育成・支援

① 若年者早期支援事業

若年者の統合失調症を中心とした精神疾患の早期発見、早期治療につなげるため、また思春期の自殺対策について、多機関で包括的に取り組むため、医療機関、教育委員会、保健所が連携を強化し、事業を実施した。

内 容：・四日市早期支援ネットワーク本会議参加 1回

・連絡会議参加 11回

・児童生徒への出前授業 中学校2件、高等学校1件

・教職員等事例検討会 0回、ケース会議 2回

・教職員対象出前研修 2件

・思春期精神科医師相談 実施回数 3回

来所者 4人

- ・個別相談 延べ33件
- ・YESnet 夏季研修会（教職員対象）
内 容：「トラウマのある児童生徒への対応」
講 師：総合心療センターひなが 精神科医師 山田 智子 氏
参加者：96人

② 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク

四日市地域の医療機関や職域及び地域の関係機関の関係者が連携を図り、アルコール依存症等の研究、啓発、情報交換を行っているネットワークの事務局として企画、調整を行った。

- 内 容：・従事者向け研修会の企画、出席 1回
- ・多機関連携事例共有会 2回
 - ・ネットワーク会議の開催 2回
 - ・ネットワーク運営委員会の開催 2回
 - ・各種チラシ等の作成

(5) 地域等における連携会議

こころの病などで悩む人への支援を実施するため、地域及び関係機関等において情報の共有、検討を図るため会議に出席した。

連携会議出席回数 16回（実人数 14人）

3. 難病対策

1) 特定医療費（指定難病）受給者証認定状況

国が指定する341の指定難病を対象とした特定医療費の助成制度により、医療費の自己負担の軽減が図られている。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和6年度末現在認定者数（人）

疾病番号	病名	認定者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3
2	筋萎縮性側索硬化症	26
3	脊髄性筋萎縮症	0
4	原発性側索硬化症	2
5	進行性核上性麻痺	20
6	パーキンソン病	314
7	大脳皮質基底核変性症	12
8	ハンチントン病	1
9	神経有棘赤血球症	0

10	シャルコー・マリー・トゥース病	3
11	重症筋無力症	84
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	48
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	12
15	封入体筋炎	8
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	23
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	67
19	ライソゾーム病	13
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	5
22	もやもや病	39
23	プリオン病	1
24	亜急性硬化性全脳炎	0
25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	0
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	10
29	ウルリッヒ病	0
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	1
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
34	神経線維腫症	11
35	天疱瘡	10
36	表皮水疱症	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0
40	高安動脈炎	5
41	巨細胞性動脈炎	8
42	結節性多発動脈炎	2
43	顕微鏡的多発血管炎	38
44	多発血管炎性肉芽腫症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	23
46	悪性関節リウマチ	9
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2

49	全身性エリテマトーデス	148
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	67
51	全身性強皮症	113
52	混合性結合組織病	24
53	シェーグレン症候群	27
54	成人発症スチル病	10
55	再発性多発軟骨炎	3
56	ベーチェット病	42
57	特発性拡張型心筋症	41
58	肥大型心筋症	6
59	拘束型心筋症	0
60	再生不良性貧血	10
61	自己免疫性溶血性貧血	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	47
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
65	原発性免疫不全症候群	5
66	IgA 腎症	51
67	多発性嚢胞腎	41
68	黄色靭帯骨化症	12
69	後縦靭帯骨化症	90
70	広範脊柱管狭窄症	5
71	特発性大腿骨頭壊死症	59
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	21
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	4
75	クッシング病	1
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11
78	下垂体前葉機能低下症	55
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	33
85	特発性間質性肺炎	41
86	肺動脈性肺高血圧症	11
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0

88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	26
91	バッド・キアリ症候群	1
92	特発性門脈圧亢進症	2
93	原発性胆汁性胆管炎	35
94	原発性硬化性胆管炎	3
95	自己免疫性肝炎	9
96	クローン病	132
97	潰瘍性大腸炎	428
98	好酸球性消化管疾患	6
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	5
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	3
110	ブラウ症候群	1
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	10
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	1
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	1
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0

127	前頭側頭葉変性症	3
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	1
138	神経細胞移動異常症	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	1
145	ウエスト症候群	3
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	PCDH19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	4
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	5
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0

166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	5
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	ATR-X 症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスマンド・トムソン症候群	0
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1 p36 欠失症候群	0
198	4 p 欠失症候群	0
199	5 p 欠失症候群	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0

205	脆弱 X 症候群関連疾患	0
206	脆弱 X 症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	2
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	2
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
215	ファロー四徴症	1
216	両大血管右室起始症	3
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	3
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	42
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
224	紫斑病性腎炎	2
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0
227	オスラー病	1
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
230	肺胞低換気症候群	0
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	2
241	高チロシン血症 1 型	0
242	高チロシン血症 2 型	0
243	高チロシン血症 3 型	0

244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
249	グルタル酸血症1型	0
250	グルタル酸血症2型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳腱黄色腫症	0
264	無 β リポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	0
266	家族性地中海熱	2
267	高IgD症候群	0
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	11
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	1
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0

283	後天性赤芽球癆	3
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンconi貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
289	クローンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	2
297	アラジール症候群	1
298	遺伝性膝炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	11
301	黄斑ジストロフィー	1
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシュャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	52
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX 1 B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0

322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1
331	特発性多中心性キャスルマン病	4
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ結合体）	0
337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
339	M E C P 2 重複症候群	0
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	1
341	T R P V 4 異常症	0
	合 計	2,662

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関と相互連携して評価及び課題の検討を行うことにより、地域支援体制充実を図った。

① ケア会議参加（定例）

概ね第2火曜日：対象患者2名

事例疾患	検討内容	回数	出席者
筋萎縮性側索硬化症	在宅療養支援のための情報共有、支援者間の連携等	12回	地域主治医・看護師・ケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパー・保健師等

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行った。

① 家庭訪問

	病名	実人数	延人数
令和6年度	筋萎縮性側索硬化症	4	4
	計	4	4
令和5年度	筋萎縮性側索硬化症	2	2
	計	2	2
令和4年度	筋萎縮性側索硬化症	4	5
	計	4	5

② 来所相談

	実人数	延人数
令和6年度	21	23
令和5年度	15	15
令和4年度	12	13

③ 電話相談

	実人数	延人数
令和6年度	10	17
令和5年度	12	18
令和4年度	11	20

(3) 訪問看護師等育成事業<難病研修>

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修を行った。

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和6年10月21日(金) 四日市市総合会館8階視聴覚室	<ul style="list-style-type: none"> 意思伝達装置について 特定医療費(指定難病)医療費助成制度の概要、申請について 	四日市地域のケアマネジャー等	150名 (対面30名、オンライン120名)

3) 災害時対応の支援

医療依存度の高い在宅療養患者の生命を維持するため、災害時に近隣の住民による円滑な支援ができるよう、在宅療養患者が生活している自治会や地域の自主防災組織と協働し、避難訓練を行った。

日時・場所	内容	参加者
令和6年 10月27日(日) 9:00~11:00 波木南台集会所	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治 氏 (2) 実技訓練 ・アンビューバッグの取扱 ・毛布を使った搬送方法 ・リクライニング車椅子を用いた搬 送訓練	24名 ・波木南台住民（自治会長・地域 支援者・自治会防災担当者） ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・フィリップスエレクトロニクス ジャパン ・津保健所、鈴鹿保健所 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課
令和6年 11月10日(日) 9:00~11:30 市立西笹川中学 校 体育館	(1) 講義 「医療依存度の高い在宅療養患者の 避難支援について」 講師 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治 氏 (2) 実技訓練 ・呼吸器、アンビューバッグの取扱 ・毛布を使った搬送方法 (3) ALS 患者宅への訪問	39名 ・笹川四丁目住民（自治会長・地 域支援者・自治会防災担当者） ・笹川内科胃腸科クリニック医師 ・フィリップスエレクトロニクス ジャパン ・桑名保健所、伊賀保健所 ・四日市市南消防署 ・四日市市役所 危機管理課

4. 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法という。）に基づき、感染症の発生予防及び感染拡大防止に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進した。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行った。

1) 感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム）

感染症発生動向調査（感染症サーベイランスシステム：全国規模で情報を迅速に収集、分析、公開するオンラインシステム）を利用して、発生情報を国及び三重県に報告すると共に、感染症発生動向情報を受信し、ホームページにより市民に情報提供した。

2) 感染症患者の発生状況

(1) 一類・二類・三類・新型インフルエンザ等感染症発生状況（二類：結核以外） (件)

	病名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症		797	73,976
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11	9	13
	腸チフス	1	-	1

※一類・二類（結核以外）感染症の発生なし。

※新型コロナウイルス感染症について、令和4年度及び令和5年度の件数は、令和4年9月から発生届の対象者が限定されたため、公表件数とする。また、令和5年5月8日より五類感染

症（定点報告）へ移行した。

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの） (件)

	病名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
四類感染症	E型肝炎	2	-	1
	A型肝炎	1	-	1
	つつが虫病	2	1	6
	デング熱	2	-	-
	レジオネラ症	11	7	8
五類感染症	アメーバ赤痢	2	-	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	5	4
	急性弛緩性麻痺	2	1	-
	急性脳炎	5	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	6	2
	後天性免疫不全症候群	3	2	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	4	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	8
	水痘(入院例に限る。)	1	-	-
	梅毒	52	23	20
	播種性クリプトコックス症	-	-	1
	百日咳	1	-	-

(3) 病原体検査実施状況 (件)

病名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
コレラ	2	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	39	51	53
腸チフス	2	-	15
E型肝炎	1	-	1
A型肝炎	1	-	-
重症熱性血小板減少症候群	-	1	-
つつが虫病	2	1	3
デング熱	3	2	-
日本紅斑熱	-	2	1
鼻疽	1	-	-
ライム病	-	2	-
レプトスピラ病	-	1	-
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	5	4
急性弛緩性麻痺	2	2	-

急性脳炎	4	1	2
風しん	2	1	-
麻疹	1	1	-
RS ウイルス	-	-	2
咽頭結膜熱	-	1	1
インフルエンザ	22	49	11
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	1	-
感染性胃腸炎	-	65	7
手足口病	-	2	2
突発性発疹	-	1	-
ヘルパンギーナ	-	3	-
無菌性髄膜炎	-	1	-
流行性耳下腺炎	1	-	-
新型コロナウイルス感染症	1	5,487	62,608

※新型コロナウイルス感染症の検査について、患者発見・隔離のための有症状者等の検査は令和5年5月7日で、重症化リスクが高い者が多い医療機関、高齢者施設等での陽性者発生時の周囲の者への検査は令和6年3月31日で終了した。令和6年度は、三重県新型コロナウイルス感染症ゲノムサーベイランス事業として検査を実施した。

(4) 社会福祉施設等における発生状況

社会福祉施設等からの感染症集団発生時の報告に対し、調査及び指導等を行った。(件)

施設種別	病名	令和6年度	令和5年度	令和4年度
社会福祉施設	インフルエンザ	6	5	-
	感染性胃腸炎	3	12	2
	新型コロナウイルス感染症	36	75	
学校等	感染性胃腸炎	3	3	-
医療機関等	インフルエンザ	1	-	-
	新型コロナウイルス感染症	9	24	

※新型コロナウイルス感染症について、令和5年5月7日以前は、発生届により状況把握を行っていたため、社会福祉施設等からの感染症集団発生時の報告は受け付けていない。また、5月8日から9月30日までは、三重県独自基準として、施設内感染による感染者が1週間で5人以上確認された場合に報告を求めている。

3) 衛生教育

感染症予防のための広報、ホームページ掲載、チラシの配布を行うとともに、自治会や企業、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施した。

また、福祉施設職員の感染症の及び食中毒の予防に対する意識を高め、正しい知識を日々の業務に活かすことにより、感染症発生時の拡大防止を図るため、介護保険課の協力のもと、感染症

研修会を行った。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
回数	38	25	2※
参加人数	849	813	集合 29 オンライン 80

※うち1回オンライン開催。

感染症研修会（再掲）

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和6年9月27日(金) 13:00～15:35 総合会館 7階 第1研修室	【講義】 ・感染症の基礎知識、施設における感染対策について ・高齢者施設における感染対策のポイント 【グループワーク】 ・各施設の集団発生事例をもとにした、感染症発生時の対応の共有・情報交換	介護保険サービス事業所及びサービス付き高齢者向け住宅職員のうち、感染症対策の中心者・実務を担う職員ほか	35人 (前記の延べ人数に含む)

4) 特定感染症検査（HIV 除く）の実施

(件)

	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
梅毒	402	322	80	455	346	109	354	252	102
B型肝炎	402	322	80	453	342	111	355	252	103
C型肝炎	400	320	80	457	345	112	357	254	103

※B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

5) B型・C型ウイルス性肝炎治療費助成及び肝がん・重度肝硬変治療費助成受給者証認定状況

B型・C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロン治療、C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行う核酸アナログ製剤治療、及び肝硬変・肝がんに関し新たな治療方法の研究開発の促進その他治療水準の向上を図ることを目的に行う肝がん・重度肝硬変治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度である。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和6年度末現在認定者数（人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
インターフェロン治療	0	0	0

インターフェロンフリー治療	19	10	30
核酸アナログ製剤治療	163	213	203
肝がん・重度肝硬変治療	0	0	1

5. エイズ対策

感染者や患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行った。

1) 保健所における HIV 抗体検査数

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
検査数	406	453	358
(夜間検査再掲)	101	121	87

2) 相談件数

(件)

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話
相談	5	76	6	56	1	32

※検査来所時の相談は含まず。

3) 啓発活動

(1) HIV 検査普及週間 (6月1日～6月7日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和6年6月5日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和6年6月12日(水) 17:30～19:00
- ② 市ホームページへの掲載 (バナー広告、特設ページ)
- ③ SNS 掲載 (Facebook、X)
- ④ 広報よっかいち5月下旬号に掲載
- ⑤ ポルトガル語広報5月下旬号に掲載
- ⑥ デジタルサイネージ掲載

(2) 世界エイズデー (12月1日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和6年12月4日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和6年12月11日(水) 17:30～19:00
- ② 市ホームページへの掲載 (バナー広告、特設ページ)
- ③ SNS 掲載 (Facebook、X)
- ④ 「世界エイズデー」ポスター掲示・配布 (配布先：市内学校(中学校、高等学校、専門学校、大学)、各地区市民センター等)
- ⑤ 拠点病院 (県立総合医療センター) にて啓発物設置
- ⑥ 総合会館ロビーでのパネル展示 令和6年11月25日(月)～12月6日(金)

- ⑦ 市内鉄道駅構内（近鉄四日市駅、近鉄富田駅、あすなろう鉄道四日市駅）にて啓発ポスター設置
- ⑧ 働く世代へ情報を配信
- ⑨ 街頭啓発実施 四日市ふれあいモール
令和6年12月1日（日） 14時から1時間程度実施
啓発グッズ（啓発カード付粉末スープ）の配布 1,500個
- ⑩ 広報よっかいち 11月下旬号に掲載
- ⑪ ポルトガル語広報 11月下旬号に掲載
- ⑫ デジタルサイネージ掲載
- ⑬ じんけんフェスタ 2024にて啓発パネル、啓発ティッシュ 100個を設置
令和6年12月8日（日）

（3）性感染症に関する講座

実施日	対象	出席者数(人)
令和7年3月10日（月）	市内小中学校養護教諭	64

（4）その他

- ① 医療機関にて啓発ポスターを掲示。
- ② 各地区市民センター、大学、専修学校に啓発ポスターの掲示、検査案内カードの配布。
- ③ 外国人向け啓発リーフレット(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)を国際交流センター、市役所外国人市民向け生活オリエンテーション窓口、国際共生サロン、市内日本語学校)へ配布、国際交流センターのホームページに資料掲載。

IV. 衛生指導課

1. 食品衛生

1) 食品営業・届出施設の監視指導状況

食の安全と安心を確保するために、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係事業者に対して監視指導を行った。令和3年6月1日施行の改正食品衛生法により義務化されたHACCPに沿った衛生管理について、取組状況の確認と運用支援に重点を置き、取扱食品の流通の広域性、製造量などから食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設を中心に監視指導を行った。

(1) 業種別監視数

○旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和6年度末 施設数	令和5年度末 施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数	令和4年度 監視施設数
飲食店営業	1,013	1,667	139	216	282
菓子製造業	142	230	43	50	58
乳処 理 業	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0
乳製品製造業	1	1	0	1	1
集 乳 業	0	0	0	0	0
魚介類販売業	50	83	51	88	71
魚介類せり売り業	2	2	2	3	2
魚肉ねり製品製造業	1	1	0	1	0
食品の冷凍冷蔵業	11	19	8	10	4
かん詰・びん詰製造業	4	7	0	1	0
喫茶店営業	134	164	6	9	21
あん類製造業	0	1	0	0	0
アイスクリーム類製造業	22	33	0	6	13
乳類販売業	0	0	0	0	0
食肉処 理 業	11	15	5	11	18
食肉販売業	45	67	33	51	40
食肉製品製造業	2	2	0	1	0
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0
食用油脂製造業	1	1	1	1	2
マーガリン・ショートニング製造業	0	0	0	0	0
みそ製造業	1	3	0	0	0
醤油製造業	0	1	0	0	0
ソース製造業	4	4	2	1	0

酒 類 製 造 業	0	0	0	0	3
豆 腐 製 造 業	1	2	0	1	1
納 豆 製 造 業	0	0	0	0	0
め ん 類 製 造 業	11	16	2	2	4
総 菜 製 造 業	18	25	5	7	17
添 加 物 製 造 業	10	11	2	3	3
食 品 の 放 射 線 照 射 業	0	0	0	0	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	2	2	0	0	0
氷 雪 製 造 業	0	0	0	1	0
氷 雪 販 売 業	0	0	0	0	0
計	1,486	2,357	299	464	540

○改正食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和6年度末 施設数	令和5年度末 施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数	令和4年度 監視施設数
飲 食 店 営 業	2,646	2,004	1,135	1,258	1,169
調理の機能を有する自動販 売 機 に よ る 営 業	20	12	8	5	6
食 肉 販 売 業	67	47	49	30	28
魚 介 類 販 売 業	70	50	71	58	34
魚 介 類 競 り 売 り 業	1	1	0	1	0
集 乳 業	0	0	0	0	0
乳 処 理 業	0	0	0	0	0
特 別 牛 乳 搾 取 処 理 業	0	0	0	0	0
食 肉 処 理 業	11	9	6	7	1
食 品 の 放 射 線 照 射 業	0	0	0	0	0
菓 子 製 造 業	273	218	140	109	106
アイスクリーム類製造業	12	12	4	9	5
乳 製 品 製 造 業	1	1	1	2	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	7	7	2	7	6
食 肉 製 品 製 造 業	4	4	3	4	0
水 産 製 品 製 造 業	10	4	8	3	1
氷 雪 製 造 業	0	0	0	0	0
液 卵 製 造 業	1	1	0	1	0
食 用 油 脂 製 造 業	7	7	5	6	2
みそ又はしょうゆ製造業	8	7	1	0	2
酒 類 製 造 業	7	7	1	7	0
豆 腐 製 造 業	4	4	2	3	1

納豆製造業	0	0	0	0	0
麺類製造業	7	5	7	4	2
そうざい製造業	70	54	33	35	21
複合型そうざい製造業	3	2	4	1	1
冷凍食品製造業	3	3	2	2	0
複合型冷凍食品製造業	2	1	1	1	1
漬物製造業	15	10	9	5	2
密封包装食品製造業	15	13	7	10	7
食品の小分け業	12	9	5	0	4
添加物製造業	21	21	8	17	6
計	3,297	2,513	1,512	1,585	1,405

○届出を要する食品関係営業施設

		令和6年度末 施設数	令和5年度末 施設数	令和6年度 監視施設数	令和5年度 監視施設数	令和4年度 監視施設数
旧許可 業種で あった 営業	魚介類販売業 (包装)	77	82	6	6	6
	食肉販売業 (包装)	106	114	11	13	5
	乳類販売業	231	230	14	12	14
	冰雪販売業	5	4	0	0	0
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	532	499	11	1	7
販売業	弁当販売業	24	16	0	0	0
	野菜果物販売業	67	60	28	36	14
	米穀類販売業	25	25	0	0	0
	通信販売・訪問販 売による販売業	3	2	0	0	0
	コンビニエンス ストア	128	116	15	32	19
	百貨店、総合 スーパー	85	79	65	70	51
	自動販売機による販 売(コップ式以外)	123	124	4	5	3
	その他の食料・ 飲料販売業	400	348	25	40	27

製造・加工業	添加物製造・加工業	15	15	0	12	1
	いわゆる健康食品の製造・加工業	7	7	1	3	2
	コーヒー製造・加工業	31	20	4	0	1
	農産保存食料品製造・加工業	5	5	0	0	1
	調味料製造・加工業	9	9	1	2	2
	糖類製造・加工業	1	1	0	0	0
	精穀・製粉業	4	4	0	0	0
	製茶業	39	39	1	2	0
	海藻製造・加工業	3	2	2	0	1
	卵選別包装業	7	7	1	5	0
	その他の食料品製造・加工業	72	53	8	9	7
その他	行 商	5	4	0	0	0
	集団給食施設（20食以上）	170	165	44	40	39
	器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂）	17	17	0	0	0
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	4	4	0	0	0
	そ の 他	9	7	0	0	0
計		2,204	2,058	241	288	200

(ランク別監視数)

項目 ランク	監視頻度 (目安)	対象施設数 (令和5年度末施設数)	令和6年度 監視数(件)	令和6年度 監視実施率(%)
A	1回以上/1年	285	346	121.4
B	必要に応じて	6,827	1,706	25.0

ランクA：食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設（大量調理を行う飲食店営業、大量調理を行う集団給食施設、大規模小売り店舗、広域流通させる製造業）等
 ランクB：A以外の施設

2) 食品等の収去検査等実施状況

市内において生産、製造、加工及び販売される食品等の抜き取り検査（収去検査）を行い、食品衛生法及び食品表示法に定める基準等に基づき指導を行うことで不良・違反食品を排除し、食中毒、食品事故の未然防止に努めるとともに、事業者の自主衛生管理の強化を図った。

令和6年度は、収去検査を316件実施した結果、食品表示法に基づく食品表示基準違反が1件、四日市市食品の衛生管理指標に基づく不適合が5件判明したため、その製造業者に対する指導等により改善確認を行った。

(乳以外の食品の収去検査)

分類	項目	令和6年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	市指標 不適件数	令和5年度 収去検体数	令和4年度 収去検体数
魚介類		10	0	0	0	10	10
魚介類加工品 (かん詰・びん詰を除く。)		10	0	0	0	14	10
肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)		17	0	0	0	19	12
乳類加工品(アイスクリーム類を除き、マーガリンを含む。)		1	0	0	0	1	0
穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)		22	0	0	1	21	20
野菜・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)		33	0	1	0	32	29
菓子類		32	0	0	3	29	29
清涼飲料水		1	0	0	0	0	0
酒精飲料		0	0	0	0	1	0
かん詰・びん詰食品		8	0	0	0	9	4
その他の食品		179	0	0	1	166	161
器具及び容器包装		1	0	0	0	1	0
合計		314	0	1	5	303	275

(乳の収去検査)

分類	項目	令和6年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	令和5年度 収去検体数	令和4年度 収去検体数
牛乳		2	0	0	2	0
合計		2	0	0	2	0

(拭取り検査・ATP検査)

分類	項目	令和6年度 収去検体数	令和5年度 収去検体数	令和4年度 収去検体数
器具等拭取検査		45	26	34
器具等ATP検査		202	123	99

3) 食品等の要望・申出・相談・調査対応状況

「食品を食べて体調を崩した。」、「食品中に異物（虫、毛等）が入っていた。」など市民からの相談に対して食品等の調査を実施した。また、広域的な食中毒事案の際や不良食品等の調査については、関係の都道府県、政令市等と緊密な情報交換を行い、その原因究明と被害拡大防止に努めた。

(要望・申出・相談・調査件数)

分類	項目	有症者・ 食中毒(疑いを 含む)相談・ 調査件数	食品要望 申出・相談 ・調査件数	表示相談・ 調査件数	合計
内 訳	当市での対応	33	46	14	93
	市外から調査依頼	16	6	0	22
	市外への調査依頼	6	0	1	7
令和6年度		55	52	15	122
令和5年度		58	65	14	137
令和4年度		41	48	23	112

4) 食中毒の発生

食中毒は2件発生し、いずれもノロウイルスが原因物質であった。原因施設に対して衛生指導を行い、再発防止を図った。

発生年月	原因施設	患者数	原因食品	原因物質
令和6年5月	飲食店 (一般食堂、レストラン)	10名	令和6年5月26日夕に 調理された弁当	ノロウイルス
令和7年1月	飲食店 (すし屋)	20名	令和7年1月21日に調理さ れた弁当	ノロウイルス

5) 食中毒警報

令和6年度は、食中毒警報を3回発令した。発令時には関係機関に情報提供を行うとともに、掲示板、立て看板、ホームページ、安全安心防災メール、市内ケーブルテレビのデータ放送にて情報発信した。

令和6年度	発令基準※	令和5年度	発令基準※	令和4年度	発令基準※
発令月日		発令月日		発令月日	
7月3日	(3)	7月3日	(1)	6月27日	(3)
7月22日	(1)	7月18日	(1)	8月1日	(1)
7月29日	(1)	8月28日	(1)		

※食中毒警報発令基準

- (1) 気温 30℃以上が 10 時間以上継続することが予想される場合
- (2) 気温 25℃以上で相対湿度 90%以上が 10 時間以上継続することが予想される場合
- (3) 24 時間以内に急激に気温が上昇し、その差が 10℃以上を超えることが予想される場合
- (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、食中毒及び感染症の発生状況等を勘案し、特に必要があると認める場合

警報の有効期間：警報発令後 48 時間

6) 食品衛生知識の普及啓発

食品等事業者に対し、食品衛生講習会を定期的に開催し、食中毒予防やHACCPに沿った衛生管理について説明した。また、市民への食品衛生知識の普及啓発などを目的として、講習会等を実施した。

さらに、「広報よっかいち」に食中毒予防に係る啓発記事を掲載すると共に、8月8日には大型複合施設2店舗において、四日市食品衛生協会と協働し食中毒防止の注意喚起や啓発物品を配布して幅広く食中毒防止について普及啓発を行った。

(食品衛生講習会等の実施状況)

講習会対象者	項目	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
		実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
食品事業者		26	1,056	27	1,138	26	973
給食関係従事者		2	224	2	186	2	141
食生活改善推進員		1	45	2	66	3	78
消費者		4	83	4	81	5	132
その他		3	65	2	867	1	270
合計		36	1,473	37	2,338	37	1,594

2. 獣医務衛生

狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録や狂犬病予防注射などを動物病院と連携して実施した。また、係留されていない犬の捕獲等を行うことで狂犬病の被害防止に努めた。

また、動物の愛護及び管理に関する法律及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬等による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行った。

動物の愛護と生活環境の保全を両立した「人と動物の共生できる社会」の実現を目指し、地域住民等が餌やり等の管理をしている飼い主のいない猫に対し、避妊去勢手術費用の補助を行い、地域環境の維持に努めた。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況

(頭)

	登録数			注射頭数		
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
登録頭数	19,072	18,825	18,832			
新規登録数	1,368	1,196	1,312			
総注射頭数				13,564	13,569	13,954
集合注射頭数				796	1,033	1,133
家庭注射頭数				12,768	12,536	12,821

2) 動物による咬傷事故状況 (届出件数)

	犬	犬以外
令和6年度	16	0
令和5年度	9	0
令和4年度	11	0

3) 第一種動物取扱業届出数及び監視状況

(件)

		総施設数	区分							計
			販売	保管	貸出	訓練	展示	譲受飼養	競りあっせん	
令和6年度	登録数	103	52	66	4	9	7	3	0	141
	監視数	35	18	18	3	2	6	0	0	47
令和5年度	登録数	96	49	61	4	9	8	3	0	134
	監視数	24	13	16	0	0	4	1	0	34
令和4年度	登録数	96	48	60	3	9	7	1	0	128
	監視数	35	19	23	2	2	5	1	0	52

4) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況

(頭)

		捕獲	引取	返還	譲渡	殺処分※			
						①	②	③	計
令和6年度	犬	13	25	30	7	0	0	1	1
	猫	-	21	0	6	0	0	15	15
令和5年度	犬	19	21	35	5	0	0	0	0
	猫	-	41	0	21	4	0	16	20
令和4年度	犬	36	28	54	10	0	0	0	0
	猫	-	60	2	32	5	0	21	26

※殺処分の内訳

- ① 譲渡することが適切ではない（治癒の見込みがない病気や攻撃性がある等）
- ② ①以外の処分（譲渡先の確保や適切な飼養管理が困難）
- ③ 引取り後の死亡（病気、老齢、幼齢等のため死亡した動物）

5) 犬及び猫等の相談・問い合わせ状況 (件)

	令和6年度			令和5年度		
	犬	猫	その他の動物	犬	猫	その他の動物
飼い方指導依頼 (糞尿・放し飼い・鳴き声等)	80	73	1	90	56	5
野犬・放浪犬保護依頼	31	-	-	64	-	-
負傷・死亡収容(36条)依頼	9	42	5	5	47	10
引取り(35条)依頼	56	49	5	33	51	2
失踪照会	87	104	4	124	138	4
その他	492	539	150	445	485	168
TNR依頼	-	5	-	-	7	-
動物取扱業に関する通報	3			1		
特定動物に関する通報	0			0		
人獣共通感染症に関する相談	7			11		
ペット防災に関する相談	52			10		
犬の登録注射に関すること	1,823			1,346		
避妊去勢手術補助に関すること	1,134			516		

6) 飼い主のいない猫の避妊等手術補助金交付事業実施状況 (件)

	飼い主のいない猫			飼い犬			飼い猫		
	メス	オス	計	メス	オス	計	メス	オス	計
令和6年度	334	283	617	218	252	470	315	332	647
令和5年度	368	212	580	250	266	516	338	334	672
令和4年度	347	310	657	233	273	506	384	406	790

3. 生活衛生

市民が安心して施設を利用できるよう、専門的な観点から理容所、美容所、公衆浴場などの生活衛生関係施設の監視を行い、自主的な衛生管理の推進を図った。

(営業施設数及び監視件数等の状況)

	施設数 (令和6年 4月1日現在)	開設数	令和6年度 監視件数	令和5年度 監視件数	令和4年度 監視件数
		廃止数			
理容所	228	3 8	9	17	14
美容所	692	39 17	95	109	81
クリーニング所	工場 39	0 1	工場 5	工場 3	工場 11
公衆浴場	23	1 1	10	3	6
興行場	8	1 0	3	3	2
旅館業	73	7 1	17	10	5
総数	1,063	51 28	139	145	108

4. 薬務

1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等に基づく指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」や「毒物及び劇物取締法」等の関係法令に基づき、医薬品や毒物及び劇物を取り扱う事業者に対して、監視指導を行い、医薬品の安全性、適正な流通の確保を図るとともに、毒物及び劇物の取扱いの徹底を図ることによる健康被害や事故の発生防止に努めた。

(薬務六法に基づく施設数及び監視数)

業種	事項	許可・届出数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
			監視数	監視数	監視数
医薬品	薬局	162	125	118	103
	薬局製造医薬品製造業	6	3	2	7
	薬局製造販売業	6	3	2	7
	店舗販売業	65	42	53	38
	業務上取り扱う施設		18	20	8

医薬部外品	販 売 業			129	132	108
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			20	18	7
化 粧 品	販 売 業			78	93	81
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			3	4	2
医療機器	販 売 業	高度管理医療機器等	162	93	93	76
		管 理 医 療 機 器	814	193	186	148
		一 般 医 療 機 器		193	186	148
	貸 与 業	高度管理医療機器等	95	53	68	57
		管 理 医 療 機 器	57	58	80	75
		一 般 医 療 機 器		58	80	75
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			21	21	8
毒物劇物	一 般 販 売 業		205	75	75	75
	農 業 用 品 目 販 売 業		16	3	4	5
	特 定 品 目 販 売 業		3	1	1	1
	業 務 上 取 扱 者	電 気 メ ッ キ	2	1	1	1
		運 送 業	16	5	7	5
非 届 出 業 務 上 取 扱 者			26	21	17	
麻 薬	小 売 業			111	111	96
	病 院			16	16	6
	一 般 診 療 所			2	4	2
	家 畜 診 療 所			1	1	0
覚醒剤原料	薬 局			125	118	103
	病 院 / 診 療 所 / 家 畜 診 療 所			19	21	8
総 数			1,609	1,475	1,563	1,267

2) 薬物乱用防止普及・啓発活動等

(1) 不正大麻・けし撲滅運動(令和6年4月1日～令和6年6月30日)

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、市民に対し「植えてはいけないけしの花」チラシ、ポスター、リーフレット(厚生労働省編、けし・大麻の見分け方)の配布及び市ホームページ、デジタルサイネージ等による普及啓発を図るとともに、その発見除去に努めた。

管内における自生けしの発見は96箇所、19,170本あり、除去焼却した。

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(令和6年6月20日～令和6年7月19日)

国連決議による「6.26 国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物乱用防止啓発運動を実施した。

街頭啓発：令和6年7月7日 近鉄四日市駅北口ふれあいモール

啓発資材の配布とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

参加者：39人 啓発者数：2,000人

(3) 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動（令和6年10月1日～令和6年11月30日）

①街頭啓発：令和6年10月21日 近鉄四日市駅北口ふれあいモール

医薬品登録販売者協会主催による街頭啓発に参加し、薬物乱用防止の呼びかけと啓発資材の配付を行った。

参加者：9人

啓発者数：1,000人

②啓発キャンペーン：「ダメ。ゼッタイ！」薬物乱用防止啓発キャンペーン 四日市大会

地域住民と連携し、薬物乱用防止に関するクイズ大会の実施や乱用薬物に関するパネルコーナー等を設け来場者に対して啓発活動を実施した。

実施日：令和6年11月3日 四日市市立橋北中学校

参加者：166人

参加者数：3,300人

(4) 薬物乱用防止教室の推進

薬物乱用防止教室を希望する市内小学校・中学校について教育委員会と連携し学校薬剤師、ライオンズクラブ等に講師要請を行った。また、各種講習会や薬物乱用防止教室において薬物乱用防止普及啓発に努めた。

- ・ 「薬物乱用防止教室への講師派遣」：24件
- ・ 「各種講習会における薬物乱用防止啓発」：39件

(5) その他の啓発活動

①大四日市まつり（街頭啓発及びおまつり広場）：令和6年8月4日

近鉄四日市駅北口ふれあいモール及び四日市一番街商店街

ふれあいモールにてプラカードを掲げて、薬物乱用防止の呼びかけと啓発資材の配付を行い、四日市一番街商店街では薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を披露し、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

参加者：70人

啓発者数：2,038人

②よんてつ（四日市徹夜踊りの祭典）：令和6年9月7日 四日市ドーム

薬物乱用防止の願いを込めた歌詞を踊りで表現した「ダメ。ゼッタイ。音頭」を来場者と一緒に行い、薬物乱用防止について市民へ普及啓発を行った。

参加者：41人

啓発者数：8,000人

③広報よっかいち「きらり四日市人」、CTY-FM「わいわい人探訪」、CTY「ケーブルNews（市政情報コーナー）」において、薬物乱用防止啓発放送を行った。年間を通し、地域でのお知らせ等日本語のみならずポルトガル語等も含め啓発を行った。

5. 献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及、啓発に努めるとともに、多くの市民に献血にご協力いただいた。

1) 四日市市献血推進の日（夏、冬）

実施月日：令和6年7月26日（金）、令和7年1月24日（金）

実施場所：近鉄四日市駅北口ふれあいモール

2) 四日市献血ルーム「サンセリテ」

三重県赤十字血液センターが近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階にて常設の献血ルームを開設している。

3) 献血状況

(1) 献血イベントの状況

	推進の日（夏）	推進の日（冬）
献血者数（人）	56	54
啓発参加者数（人）	73	24

(2) 市内献血バス及び献血ルーム「サンセリテ」の状況

	令和6年度		
	献血協力者実績（人）		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
献血バス	—	—	3,046
サンセリテ	10,656	192	6,435
合計	10,656	192	9,481

6. 骨髄バンク事業推進

献血イベントに併せ、意識の普及啓発に努めるとともに、平成26年度より骨髄提供を行った市民及び事業所に対し、奨励金を交付する骨髄等提供支援事業を実施している。

1) 骨髄バンクの普及啓発

- ・令和6年7月26日（金） 近鉄四日市駅北口ふれあいモールで実施
- ・令和7年1月24日（金） 近鉄四日市駅北口ふれあいモールで実施

2) 骨髄等提供支援事業実績

- ・令和6年度奨励金の交付実績 0件

V. 食品衛生検査所

1. 食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査を実施した。精密検査が必要な場合は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の検査を実施し合否判定を行った。

と畜検査頭数 (頭)

年 度	牛	豚
令和 6 年度	4,315 (とく※20 含む)	97,079
令和 5 年度	4,256 (とく※28 含む)	92,293
令和 4 年度	3,919 (とく※8 含む)	94,632

※とく…1 歳未満の牛のこと

2) 食鳥検査 (立入検査)

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 38 条に基づき、認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行った。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
認定小規模処理施設数(ヶ所)	1	2	2
監視件数(件)	2	2	2
収去検査件数(件)	2	2	2

3) 食肉安全対策

と殺・解体工程、枝肉、冷蔵庫及び食肉処理室等の細菌汚染調査を行った。検査結果に基づき、と畜場・食鳥処理施設の衛生指導を実施した。また、と畜場の衛生管理について外部検証を実施した。

(件)

検査項目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
腸管出血性大腸菌	68	67	65
サルモネラ	6	6	5
カンピロバクター	6	6	5
一般生菌数	261	256	254
腸内細菌科菌群数	261	256	254
合 計	602	591	583

2. 試験検査

1) 牛海綿状脳症（BSE）検査

と畜場に搬入された牛のうち、生体検査において行動異常又は神経症状を呈するものが BSE 検査の対象となるが、全て検査対象外であった。

(頭)

年度	検査数	陰性数
令和 6 年度	0	0
令和 5 年度	0	0
令和 4 年度	0	0

2) 畜産食品残留有害物質検査

食肉及び食鳥肉の残留抗菌性物質等の検査を実施した。

(件)

検査項目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
抗生物質	290	272	318
合成抗菌剤	27	27	27
テトラサイクリン類	27	27	27
内部寄生虫薬	26	26	26
合計	370	352	398

3. 衛生検査

1) 食品衛生関連検査

(1) 食品収去 規格基準検査・衛生管理指標検査

(件)

検体種別	令和6年度		令和5年度 検体数	令和4年度 検体数	
	検体数	不適合件数			
		指標			規格
生食用魚介類	10	0	0	10	10
魚肉練り製品	10		0	10	10
食肉製品	10		0	10	10
豆腐	2	0		2	2
生洋菓子	19	2		18	18
生和菓子	9	1		9	10
調理ご飯	32	0		32	30
調理パン	20	0		20	20
漬物	8	0		8	10
生めん	6	0		5	5
ゆでめん	14	1		15	15
惣菜	71	2		65	59
学校給食	46	0		40	46
計	257	6	0	244	245

(2) 食中毒及び有症苦情等の微生物検査

(件)

検査項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
病原大腸菌	115(11)	94(2)	55
サルモネラ属菌	115(2)	94(16)	55
カンピロバクター属菌	115(6)	94(2)	55(2)
黄色ブドウ球菌	115(1)	94(6)	55(2)
セレウス菌	115(4)	94	55(2)
ウェルシュ菌	115	116(7)	55
ビブリオ属菌	115	94	55
エルシニア エンテロコリチカ	115	94	55
ノロウイルス	69(30)	72(8)	33(1)
アニサキス	0	0	5

※ ()内は陽性件数

(3) 毒物迅速検査

(件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
検体数	0	0	0

2) 感染症関連検査

(1) 感染症血清学的検査

(件)

検査項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
H I V	406	453	358(1)
H B s A g	402(1)	453(3)	355
H C V	400(1)	457(2)	357(2)
S T S	402(4)	455(7)	354(3)
T P	402(11)	455(14)	354(20)

※ ()内はスクリーニング検査陽性件数

HIV : ヒト免疫不全ウイルス抗原・抗体検査 HBsAg : B型肝炎ウイルス抗原検査

HCV : C型肝炎ウイルス抗体検査 STS : 梅毒抗体検査 (脂質を抗原とする)

TP : 梅毒抗体検査 (菌体を抗原とする)

(2) 感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査

(件)

検査項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
腸管出血性大腸菌及び ベロ毒素産生遺伝子検索	39(10)	50(10)	53(9)
腸チフス	1	0	15
パラチフス	0	0	0
コレラ	1	0	0
細菌性赤痢	0	0	0
食中毒細菌全般	0	16(1)	0
ノロウイルス	0	63(23)	6(1)
ロタウイルス	0	40	1
アデノウイルス	0	40	1
レジオネラ	10	0	0

※ ()内は陽性件数

VII. こども保健福祉課

1. 母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することで、母並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図った。

交付者数（人）

令和6年度	令和5年度	令和4年度
2,251	2,187	2,290

(2) 低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

低所得世帯の者が妊娠判定のために初めて産科医療機関を受診した際にかかる費用を補助することにより、低所得世帯の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、必要な支援につなげることを目的とする。（令和6年4月開始）

交付者数（人）

令和6年度
2

(3) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施して、安全な分娩と健康な児の出生を支援した。また、里帰り出産等のために、県外で妊婦健康診査を受診した場合の、受診費用の補助を行った。

① 県内医療機関受診件数（人）

年度	① 1～5回目	② 6～14回目	合計（①+②）
	受診件数	受診件数	受診件数
令和6年度	9,751	13,279	23,030
令和5年度	9,764	13,656	23,420
令和4年度	10,358	14,531	24,889

② 県外医療機関等受診費用補助申請件数及び回数（件）

年度	補助申請件数（件）	補助申請回数（回）
令和6年度	229	907
令和5年度	268	1,091
令和4年度	311	1,224

③ 合計受診件数 (①+②) (件)

年 度	合計受診件数	妊娠届出者数
令和 6 年度	23,937	2,078
令和 5 年度	24,511	2,047
令和 4 年度	26,113	2,157

(4) 多胎児妊婦健康診査受診費用補助金交付事業

多胎児妊娠中の妊婦が、通常の 14 回の妊婦健康診査に加えて、妊娠期間中に追加で受診を要した健診費用の補助を行った。(令和 3 年 4 月開始)

補助申請件数

年 度	申請件数 (件)	妊婦実人員 (人)
令和 6 年度	10	10
令和 5 年度	5	5
令和 4 年度	6	6

(5) 多胎児家庭家事支援サービス費用補助事業

産前産後の育児や家事の負担が大きい多胎妊婦、多胎児家庭が家事支援を受けるためにヘルパー等を利用する場合にかかる利用料の一部を補助した。(令和 6 年 4 月開始)

申請・利用件数 (件)

利用区分	産前産後	0 歳児	1 歳	合計
申請件数 (件)	27	21	11	59
利用件数 (件)	7	43	20	70

※利用実人数 16 人

(6) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行った。(年間 20 回開催：うち 12 回は日曜日に開催)

参加者数 (人)

年 度	妊婦	家族	合計
令和 6 年度	308	306	614
令和 5 年度	285	283	568
令和 4 年度	275	269	544

(7) 産前・産後サポート事業

妊産婦および乳児の母親を対象に、電話相談、来所相談、訪問指導等を実施することにより、悩みや不安等を解消し、産前産後に安心して生活が送れるよう支援した。

相談件数（件）

年度	産前			産後			合計
	電話	訪問	その他	電話	訪問	その他	
令和6年度	157	88	38	24	572	42	921
令和5年度	142	60	24	31	651	2	910
令和4年度	276	9	86	26	104	1	502

（8）産婦健康診査事業

産後2週間頃、産後1か月頃の時期に、母体の回復状況や授乳状況、精神状態を把握し、早期に必要な支援につなぐことで、産後うつ等を予防するため、産科医療機関等に委託して、健康診査を実施した。

① 県内医療機関受診件数（件）

	実施時期	受診件数	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS） 9点以上 または 質問項目10番1点以上件数
令和6年度	産後2週間	1,535	183（11.9%）
	産後1か月	1,748	160（9.2%）
	計	3,283	343（10.4%）
令和5年度	産後2週間	1,526	169（11.1%）
	産後1か月	1,771	162（9.1%）
	計	3,297	331（10.0%）
令和4年度	産後2週間	1,455	155（10.7%）
	産後1か月	1,941	174（9.0%）
	計	3,396	329（9.7%）

② 県外医療機関等受診費用補助申請人数（人）

年度	補助申請人数
令和6年度	134
令和5年度	172
令和4年度	181

③ 県外医療機関等受診費用補助回数（回）

年度	補助申請回数（回）	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）9点以上 +質問項目10番1点以上件数（件）
令和6年度	233	27
令和4年度	274	27
令和3年度	286	25

④ 県内医療機関＋県外医療機関受診状況（合計）

	実施時期	受診件数 (件)	うちエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）9点 以上 または 質問項目10番1点以上件数（件）
令和6年度	産後2週間	1,633	197 (12.1%)
	産後1か月	1,883	173 (9.2%)
	計	3,516	370 (10.5%)
令和5年度	産後2週間	1,628	184(11.3%)
	産後1か月	1,943	174(9.0%)
	計	3,571	358(10.0%)
令和4年度	産後2週間	1,560	175(11.2%)
	産後1か月	2,122	202(9.5%)
	計	3,682	377(10.2%)

(9) 1か月児健康診査費用補助事業

おおむね生後1か月の乳児を対象に、医療機関等で実施する健康診査にかかる費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、早期に子どもの健康状態を把握して必要な支援につなげた。(令和4年4月開始)

① 補助件数（件）

	県内	県外補助	合計
令和6年度	1,722	130	1,852
令和5年度	1,703	176	1,879
令和4年度	1,881	164	2,045

② 結果内訳（県内医療機関実施分）（件）

	異常なし	要指導	治療観察中	要観察	要紹介（要精密、要治療含む）	要精密	要治療	合計
令和6年度	1,558	0	57	79	23	(7)	(5)	1,717
令和5年度	1,583	12	39	38	0	18	13	1,703
令和4年度	1,757	17	29	57	0	15	6	1,881

※結果判明分のみ記載。

※令和6年度の要精密、要治療は要紹介に含まれるため、再掲。

(10) 新生児聴覚検査費用補助事業

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早く適切な支援を受けられるように、生後間もない時期の新生児に対して実施する聴覚検査に要する費用の一部を助成した。

① 補助件数（全員に対して補助:令和4年4月開始）（件）

	県内	県外補助	合計	リファー児
令和6年度	1,489	130	1,619	20
令和5年度	1,561	157	1,718	25
令和4年度	1,680	162	1,842	15

② 生活保護世帯及び市民税非課税世帯への補助

経済的な理由で、出生後に新生児聴覚スクリーニング検査を受けられず、先天性難聴の発見が遅れることがないように、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の人に対して、検査費用の成を行った。（平成28年4月開始）

補助件数（件）

年度	所得状況	交付決定件数
令和6年度	生活保護受給世帯	1
	非課税世帯	4
	課税世帯（対象外）	0
	合計	5
令和5年度	生活保護受給世帯	0
	非課税世帯	2
	課税世帯（対象外）	0
	合計	2
令和4年度	生活保護受給世帯	0
	非課税世帯	0
	課税世帯（対象外）	0
	合計	0

（11）産後ケア事業

心身ともに不安定になりやすい産後1年未満の時期に、自身の体調や育児に不安がある人や、育児支援を必要とする母子に対して、家庭訪問や医療機関等の施設において、助産師等による、乳房管理や沐浴を含む心身のケアおよび育児サポートを行った。

（三重県助産師会、県内医療機関等に委託）

○利用内訳（延べ人数）

（ ）内は実人員

年度	訪問型	デイケア型	宿泊型	合計利用回数（延べ回数）（回）	利用決定件数（件）
令和6年度	331（164）	652（240）	228（62）	1,211	679（※1）

令和5年度	234 (104)	410 (153)	126 (38)	770	279 (※2)
令和4年度	260 (116)	317 (107)	56 (14)	633	208 (※3)

※1 うち325人は利用なし、前年度から継続60人

※2 うち69人は利用なし、前年度から継続53

※3 うち6人は利用なし、前年度から継続29

※平成29年10月から訪問型を開始、令和3年4月から利用期間を産後1年までに拡大、令和3年7月からデイケア型と宿泊型を開始。令和6年4月から支援状況の有無についての条件を緩和。利用回数は計7回まで。

(12) 多胎児産後ケア事業

多胎児育児の負担や不安の軽減を図るため、多胎児家庭に助産師が訪問し、心身のケアや育児サポートを行った（三重県助産師会に委託）。（令和4年4月開始）

○利用内訳

年度	利用者数 (人)	延べ件数 (件)
令和6年度	17	52
令和5年度	10	25
令和4年度	9	22

(13) 出産・子育て応援事業

妊娠届出時より、妊婦や子育て家庭に寄り添い、妊婦や子育て家庭に寄り添って相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産・育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用にかかる負担を軽減するための経済的支援（計10万円）の一体的実施を開始した。（令和5年3月開始）

① 妊娠届出時の保健師等面談実施件数 (件)

年度	こども保健福祉課 窓口にて面談	家庭訪問にて 面談	オンライン面談 (スマートフォンによる)	計
令和6年度	1,490 (71.7%)	2 (0.1%)	585 (28.2%)	2,077
令和5年度	1,329 (65.8%)	—	691 (34.2%)	2,020
令和4年度 (3月分)	97 (57.7%)	—	71 (42.3%)	168

② 出産・子育て応援金給付件数 (件)

年度	出産応援金 (※1)	子育て応援金 (※2)
令和6年度	2,090	1,869
令和5年度	5,206	3,832

令和4年度 (3月分)	99	1
----------------	----	---

- ※1 ・令和5年3月1日以降に妊娠届出をした妊婦に対して5万円支給。
 ・令和6年2月29日までの遡及対象：令和4年4月1日から令和5年2月28日までに妊娠届出をした人、令和4年4月1日から令和5年2月28日までに出生した児童の母。
- ※2 ・令和5年3月1日以降に出生届出をした子の養育者に対して5万円支給。
 ・令和6年2月29日までの遡及対象：令和4年4月1日から令和5年2月28日までに出生した児童を養育する人。

③ 妊娠8か月アンケート (令和5年9月から実施) (件)

年度	送付人数	回答者数	面談希望者 (面談実施者)
令和6年度	1,858	1,361	65
令和5年度	1,231	754	37

④ 出生後の面談実施件数 (件)

年度	専門職面談	赤ちゃん訪問員による面談	計
令和6年度	701 (37.6%)	1,161 (62.4%)	1,862
令和5年度	577 (31.0%)	1,282 (69.0%)	1,859
令和4年度 (3月分)	3	0	3

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4か月児、10か月児を対象に、健康診査(医療機関に委託)を実施し、成長の確認とともに、障害等を早期に発見して必要な支援につなげた。

受診者数(人)

年度	4か月児健康診査			10か月児健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
令和6年度	1,916	1,844	96.2	1,974	1,860	94.2
令和5年度	2,057	2,013	97.9	2,138	2,086	97.6
令和4年度	2,182	2,141	98.1	2,272	2,166	95.3

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に健康診査を実施し、心身の障害等を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。(年間36回開催)

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和6年度	2,097	2,068	543	26.3	98.6
令和5年度	2,257	2,202	640	29.1	97.6
令和4年度	2,057	2,011	660	32.8	97.8

（3）3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、視聴覚、運動・発達等心身障害やその他疾病等の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。（年間36回開催）

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率(%)
			経過 観察者数	経過 観察率(%)	
令和6年度	2,073	2,013	208	10.3	97.1
令和5年度	2,375	2,281	235	10.3	96.0
令和4年度	2,278	2,198	238	10.8	96.5

（4）乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図った。必要な場合には専門機関の紹介を行った。

相談者数(人)

年 度	心身の発達相談数	育児不安相談数	合計
令和6年度	461	1	462
令和5年度	488	9	497
令和4年度	497	2	499

（5）親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞・発達障害が疑われる児や育児不安のある保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、児の発達を促すための適切な関わり方を学ぶ機会を設け、育児不安の解消を図った。

- ① 親子教室「ラッコ」参加者数（人）：概ね1歳6か月から2歳6か月頃の幼児。
（年間12回開催）

年 度	実人員	延人員
令和 6 年度	41	93
令和 5 年度	40	97
令和 4 年度	41	103

② 親子教室「イルカ」参加者数（人）：概ね 2 歳 6 か月以上の幼児。
（年間 12 回開催）

年 度	実人員	延人員
令和 6 年度	27	60
令和 5 年度	31	78
令和 4 年度	39	100

3) 育児支援

(1) 育児相談室 すくすくルーム

妊娠期から、子育て期にわたる様々な不安や悩みについて、気軽に立ち寄り保健師や看護師に相談できる場として「すくすくルーム」を開設。必要な指導、助言を行った。

相談者数（人）

※平成 28 年 4 月開設

年 度	相談者数		
	乳 児	幼 児	合計
令和 6 年度	968	471	1,439
令和 5 年度	811	409	1,220
令和 4 年度	889	507	1,396

(2) 妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、随時、必要な指導助言を行った。

相談者数（人）

※妊娠届出時の保健師等面談実施件数より再掲

年 度	総数	相談状況内訳	
		来所相談	電話相談
令和 6 年度	14,129	2,495	11,634
令和 5 年度	13,234	2,076	11,158
令和 4 年度	12,804	1,151	11,653

※令和5年度以降来所相談には、妊娠届出時の保健師等面談実施件数を含む
電話相談件数には、出産子育て応援事業によるオンライン面談件数を含む

(3) 訪問指導

妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、妊娠、出産、育児等を支援した。

新生児訪問指導（生後 28 日未満の児）

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援した。

乳幼児訪問指導

生後 28 日以降の乳児で、訪問希望または、育児等に支援を必要とする児を中心に日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援した。

実施者数（人）：市内に住所のある人

年 度	妊 婦		産 婦		新生児 (未熟児を除く)		乳児（新生児、 未熟児を除く）	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
令和 6 年度	61	66	739	1,367	135	139	1,896	2,718
令和 5 年度	60	76	700	1,316	84	114	2,059	2,741
令和 4 年度	91	101	815	1,281	150	177	2,101	2,595

未熟児		幼 児		その他		合 計	
実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
128	234	95	153	54	55	3,108	4,732
165	317	73	130	53	60	3,194	4,754
224	301	125	172	46	48	3,552	4,675

(4) こんにちは赤ちゃん訪問事業

おおむね生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を、保健師、助産師、看護師及びこんにちは赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供に結びつけた。(※訪問指導より、再掲)

内訳 (人)

	対象者数 (実人員)	内訳							
		在宅	不在	訪問 拒否	転居	死亡	面接 電話	居住実 態不明	その他
令和6年度	1,946	1,923	1	0	14	1	6	0	1
令和5年度	2,074	2,035	3	0	16	4	14	0	2
令和4年度	2,263	2,169	4	0	23	0	66	0	1

- ・長期里帰りや、入院者、転居予定者等で、訪問できない場合は電話や来所時面接で対応
- ・4か月超えてからも訪問や電話、予防接種や4か月児健康診査の受診状況の確認で全て状況把握済
- ・その他は施設入所児

訪問者内訳 (人)

年 度	内 訳				うち、市とこんにちは赤ちゃん訪問員が重ねて訪問した者
	市スタッフ		こんにちは赤ちゃん訪問員		
	対象者数 (実人員)	うち継続 支援者	対象者数 (実人員)	うち継続 支援者	
令和6年度	753 (38.6%)	440	1,196 (61.4%)	155	3 (再掲)
令和5年度	694 (33.0%)	434	1,406 (67.2%)	182	26 (再掲)
令和4年度	753 (32.8%)	483	1,541 (67.2%)	208	31 (再掲)

(5) 乳幼児食教室

乳幼児の養育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援した。
(年間30回開催)

参加者数 (組)

年 度	前期 (4~7 か月児)	後期 (8~12 か月児)	合計
令和6年度	297	162	459
令和5年度	264	134	398
令和4年度	265	150	415

(6) パンダひろば

生後6か月未満の乳児と保護者を対象に、同年代の子どもを持つ親同士がお互いに育児に関する不安や悩みを共有し、仲間づくりのきっかけとなる教室を開催した。(年間12回)

参加者数(組)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
517	444	390

(7) さくらんぼひろば

未就園の多胎児とその保護者、多胎児妊婦とその家族を対象に、保護者同士が、多胎児育児の悩みや不安、および多胎児を育てる喜びや楽しみを共有することで、多胎児育児の負担の軽減となる教室を開催した。(年間12回)

参加者数(組)

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
組	65	50	74
人数	242	159	237

〇ふたご・みつごファミリー交流会

日曜日に、四日市市総合体育館で多胎児家庭(多胎児妊婦含む)の交流会を開催した。
(令和4年度から年1回開催)

	開催日	場所	参加組数	参加者数
令和6年度	令和6年12月1日(日)	四日市市総合体育館	19	81
令和5年度	令和5年12月17日(日)	四日市市総合体育館	13	51
令和4年度	令和4年12月18日(日)	四日市市総合体育館	15	66

4) 子どもの歯を守るために

(1) 妊婦歯科幼児歯科健康診査

妊婦に対する歯科健康診査を実施することにより、妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上を図り、また幼児に対する歯科健康診査とフッ素塗布を実施することにより、乳歯の歯質の強化とう蝕予防を図った。(令和3年4月開始)

① 受診者数(人)

年度	妊婦歯科健康診査			幼児歯科健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
令和6年度	2,175	782	36.0	2,156	858	39.8
令和5年度	2,165	724	33.4	2,086	837	40.1
令和4年度	2,288	710	31.0	2,326	957	41.1

② 妊婦歯科健康診査受診結果の内訳

	異常なし	要指導	要精検	要治療	合計
令和6年度	314	167	19	282	782
令和5年度	288	180	23	233	724
令和4年度	282	174	13	241	710

③ 幼児歯科健康診査受診結果の内訳

	異常なし	要指導	要医療	治療中	合計	フッ素塗布 (再掲)
令和6年度	560	269	28	1	858	820
令和5年度	547	249	38	3	837	803
令和4年度	650	264	41	2	957	912

(2) 1歳のバースデー歯科教室

生後10か月から1歳4か月未満の乳幼児と保護者を対象に、萌出間もない乳歯を含む口腔清掃方法の指導およびむし歯予防の啓発を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。
(年間25回開催)

参加者数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
組	330	297	299
子ども(人)	332	301	301
保護者(人)	373	339	334

(3) 2歳のバースデー歯科教室

2歳0か月から2歳4か月未満の幼児と保護者を対象に、むし歯予防の啓発と指導、希望者に対するフッ化物応用を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(年間24回開催)

参加者数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
組	202	196	232
子ども(人)	204	196	234
保護者(人)	235	221	257

5) 地域での子育て支援

(1) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、子育て支援センターなど身近な育児の交流の場へ、保健師や看護師、栄養士が出向いて育児相談を行いました。関係機関や民生児童委員らと連携した育児支援を行うことにより、育児不安の解消を図った。

参加者数（人）

事業名	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数
子育て支援C (保育園併設型)	43		160	44		152	41		176
子育て支援C (単独型)	18		89	19		86	16		77
民生委員 児童委員主催等	21		60	19		60	16		46
保育園あそぼう会	1		5	2		8	1		7
その他(※)	1		6	3		20	0		0
保健師相談計	84		320	87		326	74		306
管理栄養士相談	37		191	36		176	32		144
管理栄養士 依頼による教育等	6	15	15	6	34	7	4		22
歯科医師・歯科衛生士 地区依頼	3	56	13	2	39	12	2	14	7

※その他・・・市立四日市図書館、北部児童館

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行った。教室は年間1回開催、その他、健診や相談の機会に事故予防について啓発を行っている。

参加者数（人）

年度	参加者数	内訳			
		乳児同伴	幼児同伴	妊婦のみ	保護者
令和6年度	49	8	9	0	32
令和5年度	8	3	0	0	5
令和4年度	21	5	4	0	12

7) 中学生ピロリ菌検査事業

日本の胃がんの95%を原因とされているピロリ菌感染の有無を、胃粘膜の萎縮のない若い世代のうちに確認し、除菌治療につなげることで、将来の胃がん発生を予防するため、義務教育年齢である中学3年生に対して、学校検尿などを利用したピロリ菌検査を実施した。(令和3年度から実施)

二次検査で陽性の者は、15歳以上で任意で除菌治療を実施する。令和5年度から、16歳になる年度末までの者を対象に治療後の除菌判定検査の公費補助を開始。

① 1次検査及び2次検査

年度	対象者数	1次検査				2次検査			
		受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)	受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)
令和6年度	2,832	2,468	87.1% (2,468/2,832)	111	4.5% (111/2,468)	84	75.7% (84/111)	23	27.4% (23/84)
令和5年度	2,844	2,459	86.5% (2,459/2,844)	138	5.6% (138/2,459)	102	73.9% (102/138)	28	27.5% (28/102)
令和4年度	2,849	2,534	88.9% (2,534/2,849)	136	5.4% (136/2,534)	94	69.1% (94/136)	35	37.2% (35/94)

② 除菌判定検査

年度	受診者数 (人)	受診率 (受診者数/ (2次検査陽性者数 +前年度からの対象者数))	陽性者数 (人)	陽性率 (陽性者数/受診者数)
令和6年度	14	34.1% (14/ (23+18))	1	7.1% (1/14)
令和5年度	10	35.7% (10/ (28+0))	1	10% (1/10)

2. 予防接種事業

1) 四日市市予防接種運営委員会

予防接種事業の円滑な運営及び予防接種事故の防止を図るため協議会を開催した。

○運営委員会及び向上部会

開催日	委員会・部会	議事
令和6年7月28日(金)	四日市市予防接種運営委員会	令和5年度予防接種実績報告 令和6年度予防接種予定について
令和7年1月31日(金)	第1回予防接種率向上委員会	令和6年度予防接種実績について 令和7年度の予防接種について

2) 予防接種者数と接種率について

接種状況

		令和6年度		令和5年度		令和4年度	
		接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)
ヒブ	1回目	16	0.8	1,979	91.9	2,183	100.0
	2回目	177	8.8	2,024	94.0	2,165	99.2
	3回目	350	17.4	2,063	95.8	2,147	98.4
	4回目	1,570	72.9	2,103	96.3	2,109	98.0
小児用肺炎 球菌	1回目	1,919	95.6	1,978	91.9	2,183	100.0
	2回目	1,896	94.5	2,025	94.1	2,169	99.4
	3回目	1,861	92.7	2,065	95.9	2,146	98.3
	4回目	1,880	87.3	2,132	97.7	2,136	99.3
B型肝炎	1回目	1,913	98.9	1,978	96.2	2,175	99.1
	2回目	1,893	97.9	2,035	98.9	2,153	98.1
	3回目	1,801	93.1	2,077	101.0	2,122	96.7
四種混合	1回目	37	1.8	2,146	99.7	2,188	100.2
	2回目	210	10.5	2,206	102.5	2,161	99.0
	3回目	388	19.3	2,247	104.4	2,159	98.9
	追加	1,960	91.0	2,128	97.5	1,952	90.7
五種混合	1回目	1,900	94.7				
	2回目	1,715	85.5				
	3回目	1,509	75.2				
	4回目	331	15.4				

二種混合（ジフテリア、破傷風）学童		2,247	83.7	2,159	80.1	2,020	73.3
不活化 ポリオ	1回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3回目	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追加	1	0.0	1	0.0	0	0.0
BCG		1,862	96.3	2,089	101.6	2,182	99.4
麻しん 風しん混合 (MR)	1期	1,893	90.0	2,127	97.8	2,144	97.4
	2期	2,055	90.3	2,228	94.4	2,353	94.4
水ぼうそう	1～2歳児 1回目	1,903	90.5	2,106	96.9	2,114	96.0
	1～2歳児 2回目	1,910	90.8	1,975	90.8	1,816	82.5
麻しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
風しん	1期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
日本脳炎	1期1回目	2,102	101.3	2,159	93.3	2,435	105.0
	1期2回目	2,067	99.6	2,086	90.1	2,295	99.0
	1期追加	2,071	87.6	1,922	84.2	3,089	131.6
	2期	2,425	99.8	2,661	107.8	3,821	141.6
HPV (子宮頸がん予防) 2・4価	1回目	33		53		1,441	
	2回目	49		165		1,393	
	3回目	83		367		1,132	
HPV (子宮頸がん予防) 9価	1回目	3,847		1,396			
	2回目	3,219		961			
	3回目	2,655		539			
ロタリックス	1回目	1,518	78.5	1,567	76.2	1,668	76.0
	2回目	1,501	77.6	1,569	76.3	1,668	76.0
ロタテック	1回目	375	19.4	381	18.5	469	21.4
	2回目	364	18.8	414	20.1	459	20.9
	3回目	355	18.4	413	20.1	456	20.8
合計		57,861		60,524		65,103	

*日本脳炎予防接種の特例について

平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた者で、20歳未満にある者は、第1期、第2期の不足分を接種可能。

*令和6年4月から五種混合ワクチン接種が開始となった。

*HPVワクチンは、平成25年6月から積極的な勧奨を一時的に差し控えていたが、令和3年11月、「積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、本市では令和4年2月から積極的勧奨を再開。

令和4年4月から、積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した「平成9年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた女性」を定期接種の対象とするHPVワクチンキャッチアップ接種が開始し、対象者に個別接種勧奨を実施。キャッチアップ接種が始まり、対象者が大幅に拡大したため、HPVワクチンの接種率は算出していない。

*HPVワクチンキャッチアップ接種の初回接種対象期間は令和7年3月末で終了。

*県外での接種を含む。

3) 予防接種県外医療機関等受診費用補助について

里帰り出産等、都合により、県内で定期予防接種を受けることができない場合に、滞在先の自治体または接種医療機関に接種の依頼を行い、接種後には接種費用に対する補助を行った。

県外医療機関等受診費用補助申請件数（件）

年 度	補助申請件数（件）
令和6年度	167
令和5年度	149
令和4年度	176

4) 任意予防接種費用助成について

(1) おたふくかぜ予防接種費用補助

1歳から小学校入学前1年間になる児を対象に、任意予防接種であるおたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成を実施した。

利用件数（件）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
県内医療機関実施（件）	3463	1,993	2,099
県外接種費用補助申請（件）	2	4	4
合計（件）	3465	1,997	2,103

※ 平成26年度から、1歳から4歳を対象に一人1回の助成を開始。

※ 令和6年度から、1歳から小学校就学前までの子を対象に一人2回まで助成。

(2) 特別の理由による任意予防接種費用補助金

平成29年度より、骨髄移植手術等の理由により、既に接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないため、再度予防接種が必要であると判断された者に対し、当該予防接種に要する費用の助成を開始した。

利用状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用人数（人）	0	1	2
利用件数（件）	0	1	4

(3) ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種費用補助金

HPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃した平成9年4月2日から平成17年4月1日までの間に生まれた女性が、定期接種の対象年齢を過ぎてから任意でHPVワクチンを接種した際の費用を助成する。（令和4年度から令和6年度まで）

利用状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用人数（人）	4	2	41
利用件数（件）	11	4	102

※キャッチアップ接種開始前（令和4年3月31日まで）の接種が対象

3. 医療費助成

1) 未熟児養育医療（未熟児対策）

出生時体重2,000g以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行った。

	申請件数	決定件数
令和6年度	103	101
令和5年度	81	81
令和4年度	81	81

2) 自立支援医療（育成医療）

身体に障害や疾患があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度。本市では、受給資格の認定を行っている。

	申請件数	決定件数
令和6年度	25	26
令和5年度	27	27
令和4年度	35	36

3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、国が指定した16の疾患群に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行っている。

年度末現在認定者数（人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
総 数	249	279	276
1 悪性新生物	32	39	40

2 慢性腎疾患	21	25	23
3 慢性呼吸器疾患	19	20	20
4 慢性心疾患	38	38	39
5 内分泌疾患	32	35	37
6 膠原病	9	10	9
7 糖尿病	13	15	16
8 先天性代謝異常	6	7	7
9 血液疾患	7	8	8
10 免疫疾患	2	1	2
11 神経・筋疾患	36	45	37
12 慢性消化器疾患	24	27	31
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	7	6	5
14 皮膚疾患	0	0	0
15 骨系統疾患群	3	3	2
16 脈管系疾患群	0	0	0

4. 母子保健統計

※厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用（全国・三重県の数値は、厚生労働省「人口動態統計」より）

※市の数値はすべて日本人と外国人の合計値

1) 出生の状況

① 出生数

(人)

	令和5年	令和4年	令和3年
出生数（外国人含む）	2,003	2,193	2,247
出生数（日本人のみ）	1,915	2,118	2,160
出生率（人口千対）	6.2	6.8	7.0
人口（10月1日現在）（人）	308,248	310,113	310,110

※人口動態調査に合わせて日本人の人数を計上

② 低出生体重児出生数

(人)

		令和5年	令和4年	令和3年
低出生体重児数（2,500g未満）		212	197	208
率（出生百対）		10.6	9.0	9.3
参考	三重県（日本人のみ）（率）	11.2	9.2	9.4
	全国（日本人のみ）（率）	10.8	9.4	9.4

③ 極低出生体重児出生数

(人)

		令和5年	令和4年	令和3年
極低出生体重児数 (1,500g未満)		12	17	18
率 (出生百対)		0.60	0.78	0.80
参考	全国 (日本人のみ) (率)	0.75	0.74	0.75

④ 多胎児出生の状況 (多胎児出生時体重)

(人)

出生時体重	令和5年	令和4年	令和3年
1,000g未満	2	1	2
1,000g-1,500g未満	2	2	2
1,500g-2,000g未満	3	13	9
2,000g-2,500g未満	19	15	19
2,500g-3,000g未満	10	12	7
3,000g以上	0	0	3
計	36	43	42

⑤ 多胎児出生時の母親の年齢

(人)

年齢	令和5年	令和4年	令和3年
20 - 24歳	2	2	1
25 - 29歳	5	6	5
30 - 34歳	6	9	11
35 - 39歳	5	4	3
40歳以上	0	1	1
計	18	22	21

2) 妊産婦死亡数

		令和5年	令和4年	令和3年
妊産婦死亡数 (人)		0	0	1
出産数 (人)		2,046	2,231	2,302
率 (出産10万対)		0.0	0.0	43.4
参考	三重県 (日本人のみ) (率)	0.0	9.4	8.9
	全国 (日本人のみ) (率)	3.1	4.2	2.5

3) 死産数

		令和5年	令和4年	令和3年
死産数	自然死産数	23	18	25
	人工死産数	19	20	30

	総数	42	38	55
	出産数	2,046	2,231	2,302
	率(出産千対)	20.5	17.0	23.9
参考	三重県(日本人のみ)(率)	19.1	17.2	19.7
	全国(日本人のみ)(率)	20.9	19.3	20.1

4) 新生児死亡数

		令和5年	令和4年	令和3年
	新生児死亡数(人)	1	2	3
	出生数(人)	2,003	2,193	2,247
	率(出生千対)	0.5	0.9	1.3
参考	三重県(日本人のみ)(率)	0.4	0.4	0.9
	全国(日本人のみ)(率)	0.8	0.8	0.8

5) 乳児死亡数

		令和5年	令和4年	令和3年
	乳児死亡数(人)	3	2	6
	出生数(人)	2,003	2,193	2,247
	率(出生千対)	1.5	0.9	2.7
参考	三重県(日本人のみ)(率)	1.3	0.9	1.6
	全国(日本人のみ)(率)	1.8	1.8	1.7

6) 1～4歳の死亡

		令和5年	令和4年	令和3年
	1～4歳の死亡数	3	0	0
	1～4歳人口(10月1日現在)	8,852	9,091	9,396
	率(人口10万対)	33.9	0.0	0.0
参考	全国(日本人のみ)(率)	17.0	14.6	12.3

7) 不慮の事故による死亡

① 乳児

		令和5年	令和4年	令和3年
	不慮の事故による死亡数(0歳)	0	0	0
	出生数	2,003	2,193	2,247
	率(人口10万対)	0.0	0.0	0.0
参考	全国(日本人のみ)(率)	10.0	7.8	7.5

②1～4歳

		令和5年	令和4年	令和3年
不慮の事故による死亡数(1～4歳)		0	0	0
1～4歳人口(10月1日現在)		8,852	9,091	9,396
率(人口10万対)		0.0	0.0	0.0
参考	全国(日本人のみ)(率)	1.4	1.7	1.4

Ⅶ. 保健所内

1. 学生実習

地域保健活動の中核として、保健・医療・福祉分野に従事する人材育成のため実習受け入れを行った。

学校名	実習生数	実習期間	実習内容
三重大学医学部（医学生及び看護学生）	計12人	1)1年生7人 10月8日 2)2年生5人 11月29日	1)公園ステキの会での参加者、ステキ健康サポーターへインタビュー 2)生活習慣病予防に関するパンフレットを作成し、ステキ健康サポーターの会役員および公園ステキの会の世話人に配布と説明を行い、内容に関するアンケートを実施
金城学院大学 （管理栄養士）	2人	6月17日～6月21日	保健所業務の説明、公立保育園見学、1歳6ヶ月児・3歳児健診見学、乳幼児食教室見学
名古屋女子大学 （管理栄養士）	2人		
至学館大学 （管理栄養士）	1人		
名古屋文理大学 （管理栄養士）	1人		
四日市看護医療大学	計249人	1)4年生：49人 令和6年6月25日 2)4年生：200人 令和6年7月1日～10月4日 （6グループに分かれ、学内実習を含む延べ各8日間）	1)集中講義 2)各保健事業の見学、健康教育の実施等
三重県立看護大学	計48人	3年生：4人 令和7年2月12日～2月28日 （12日間）	各保健事業の見学、健康教育の実施等
四日市医師会看護専門学校	計39名	2年生：39人 令和6年11月13日	講義
ユマニテク看護助産専門学校	計12名	令和6年8月1日～8月2日、 8月5日～8月6日	各保健事業の見学等

2. 「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供する。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで令和6年8月2日に実施した。

3. 臨床研修医研修

地域保健活動の中核として、臨床研修医の受け入れを行い、保健所の役割についての理解を目標とした研修を実施した。

病院名	研修医数	研修期間	研修内容
市立四日市病院	1人	令和6年8月5日～8月9日	講義、各保健事業の見学

保健衛生事業の概要

令和6年度実施
(令和7年度版)

編集・発行

四日市市 健康福祉部 保健企画課

四日市市諏訪町2番2号

電話 (059) 352-0585

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp>